長崎大学病院
医療教育開発センター

平成28年度 報告書

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

「若人の集う 長崎大学病院」をスローガンに
医療教育開発センターは医療人教育に邁進しています！

目次

（1）医学生のために
　1）広報
　　① ホームページ　・・・・・　P．3
　　② ブログ　・・・・・　P．4
　　③ キャリアの軌跡　・・・・・　P．5
　　④ 合同説明会　・・・・・　P．6
　　⑤ 見学者数推移　・・・・・　P．8
　2）在宅実習　・・・・・　P．9

（2）医科 初期研修のために
　1）研修医数推移（マッチング）　・・・・・　P．10
　2）研修プログラム　・・・・・　P．12
　3）ポートフォリオ　・・・・・　P．14
　4）グランドラウンド　・・・・・　P．16
　5）短期海外研修（ハワイ大学）　・・・・・　P．18
　6）英会話教室　・・・・・　P．20
　7）セミナー
　　① 実力アップセミナー　・・・・・　P．21
　　② 災害研修セミナー　・・・・・　P．28
　8）長崎 外来・救急医療教育室　・・・・・　P．30

（3）医科 後期研修のために
　1）入局者推移　・・・・・　P．32
　2）コース別登録者数の推移　・・・・・　P．33
　3）コース登録者の認定医・専門医取得状況　・・・・・　P．34

（4）医科 指導医のために
　1）指導医講習会　・・・・・　P．35

（5）歯科 初期研修のために
　1）研修医数推移　・・・・・　P．36
　2）研修プログラム　・・・・・　P．37

（6）歯科 後期研修のために
　1）研修医数推移　・・・・・　P．30

（7）看護師のために
1）合同研修（オリエンテーション） ・・・・・ P．39

（8）薬剤師のために
1）フィジカルアセスメント ・・・・・ P．40
2）フィジカルアセスメントショートコース ・・・・・ P．41

（9）採用者オリエンテーション
1）新規採用者オリエンテーション ・・・・・ P．43
2）中途採用者オリエンテーション ・・・・・ P．44

（１０）シミュレーションセンター
1）利用者数・職種別利用者数 ・・・・・ P．45
2）教育プログラム ・・・・・ P．46
3）新しく購入した物品 ・・・・・ P．48

（１１）その他
1）キッズセミナー ・・・・・ P．49

スタッフ名簿 ・・・・・ P．51

（１）医学生のために
（マッチング関連のための情報を提供しています）

１）広報

ホームページとブログをそれぞれ運営。ホームページは週に１度、ブログは毎日２～３回更新しており、医学生や研修医に向けて常に新しい情報を発信している。

① ホームページ（**http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/**）

■トップページ

メイン画像で内部へ誘導する

■内容

初期臨床研修や後期臨床研修の募集についてのほか、病院見学の案内、当センター主催のイベント告知＆開催実績など。研修医獲得に向けた情報のすべてをここで確認できる。

募集要項

イベント・セミナー

病院見学

後期研修プログラム説明会

■ホームページのアクセス数　年度推移

年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
合計	3,142	19,803	19,994	33,992 ※1	41,208	52,608	55,499	※45,957	58,489 ※2

※1）平成23年５月より、初期研修部門などのHPと合併。医療教育開発センターのHPとしてリニューアル。
※2)平成27年４月～７月までのデータを解析できなかったため数字が下がっている。

② ブログ

■アドレス
http://careerngs.exblog.jp/

■内容
初期研修医の日々の研修風景を掲載。全国の医学生に長崎大学病院での研修を身近に感じてもらえるように情報発信している。また、当センター主催のイベント告知にも活用。

研修医の日々

開催実績

イベント・セミナー告知

■ブログのアクセス数　年度推移

年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
計	4,346	44,545	101,649	89,051 ※1	75,736	76,420	76,040	61,966	40,964 ※2

※1）平成24年2月より、PCアクセスのみのカウント（モバイルからのアクセス数は含まない）。
※2）平成28年8月のデータを解析できなかったため数字が下がっている。

長崎大学病院が関連するニュースやイベント情報について、ホームページとブログで連動しながら発信している。

ホームページの左下にブログのアイコンがある。

③ キャリアの軌跡

大学生や後期研修先を探している研修医に向けて、定期的にミニコミ紙を発行している。長崎大学病院の研修プログラムの特色や環境についてのほか、研修医の活躍、各種セミナーの開催模様などを掲載。長崎大学病院の魅力を伝えるための宣伝ツールに活用している。

平成28年度発行一覧　　発行回数8回

第57号(平成27年4月25日発行)
「長大病院を選んでよかった！」

第58号（平成28年5月18日発行）
「地域研修を被災地『福島県』で受けました！」

第59号（平成28年7月22日発行）
「やっぱり長大病院で正解でした！」

第60号(平成28年9月5日発行)
「本気で行きたい!!!長崎大学病院」

第61号（平成28年10月14日発行）
「中央診療棟が完成しました！」

第62号（平成28年11月4日発行）
「S派?G派?　～５年生から、君の『医師キャリア形成』は始まっている!!!～」

↑当センターＨＰでも『キャリアの軌跡』のページを設けています。

第63号（平成28年12月9日発行）
「ハワイ大学研修」

第64号（平成29年1月13日発行）
「国試合格祈願＆応援号」

④ 初期研修合同説明会・レジナビフェア・eレジフェア・メックマッチングフェア

長崎県臨床研修協議会（新・鳴滝塾）主催の「オール長崎　初期研修合同説明会」と民間医局主催の「レジナビフェア」、リンクスタッフ主催の「eレジフェア」、メック主催の「メックマッチングフェア」に長崎大学病院も参加し、県内外の学生へ初期研修プログラムについて説明した。

平成28年度　参加説明会一覧

■長崎県合同説明会（長崎県臨床研修協議会主催）

	【日時】平成28年6月25日（土）　13：00～17：00 **【場所】長崎大学病院** **【対象】医学部学生（4、5、6年生）** **【ブース参加】長崎県内15研修病院** **【参加学生数】79名**

■レジナビフェア（民間医局主催）

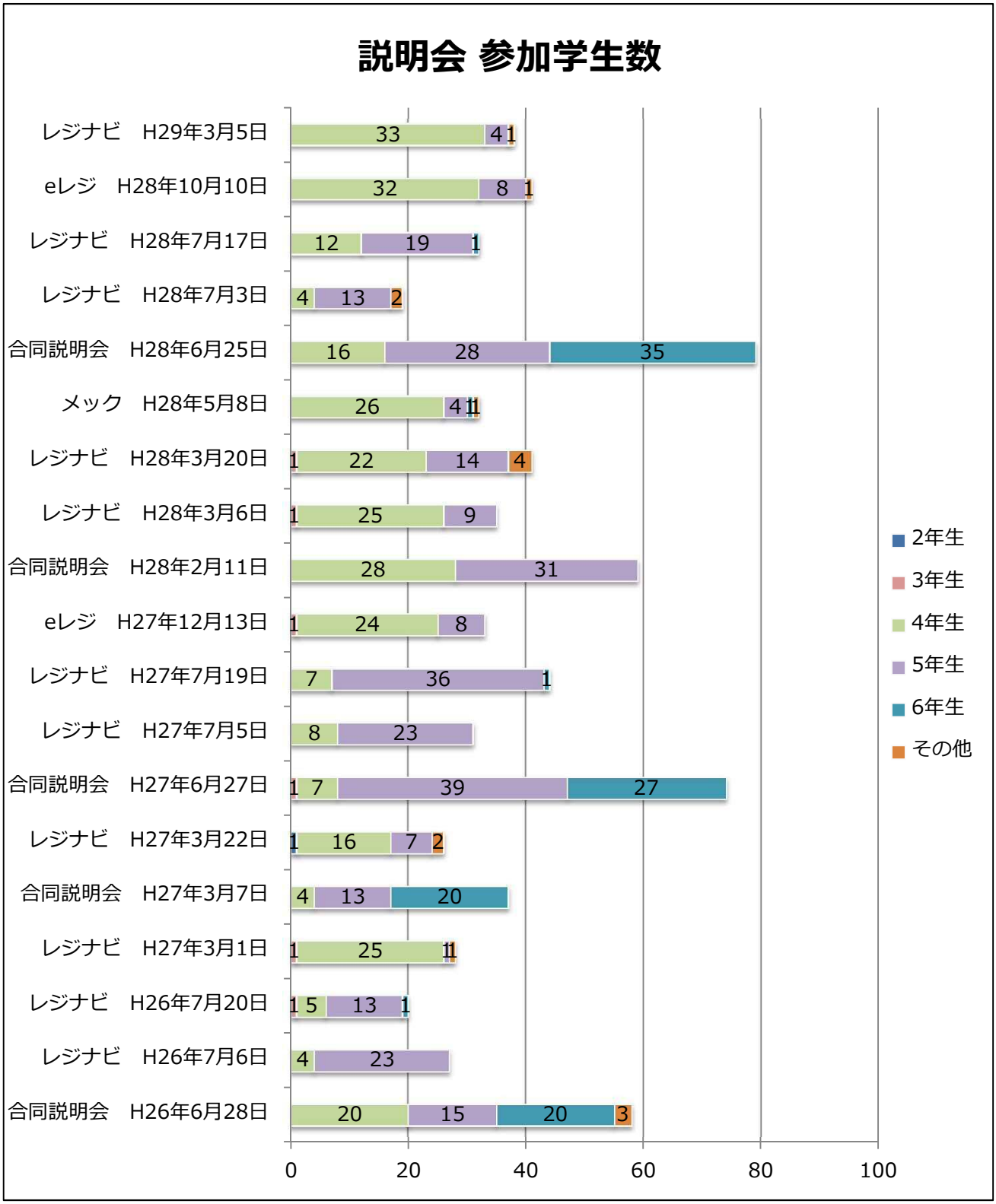
レジナビフェア2016 in 大阪	【日時】平成28年7月3日（日）　10：00～17：00 【場所】インテックス大阪 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】19名
レジナビフェア2016 in 東京	【日時】平成28年7月17日（日）　10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】32名
レジナビフェア2017 in 福岡	【日時】平成29年3月6日（日）　10：00～17：00 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】38名

■eレジフェア（リンクスタッフ主催）

eレジフェア2016 in 福岡	【日時】平成28年10月10日（日）　10：00～17：00 【場所】福岡国際会議場 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】41名

■メックマッチングフェア（メック主催）

メックマッチングフェア2016 in 福岡	【日時】平成28年5月8日（日）　10：00～17：00 【場所】JR博多シティ10階会議室 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】32名


説明会 参加学生数
レジナビ　H29年3月5日
eレジ　H28年10月10日
レジナビ　H28年7月17日
レジナビ　H28年7月3日
合同説明会　H28年6月25日
メック　H28年5月8日
レジナビ　H28年3月20日
レジナビ　H28年3月6日
合同説明会　H28年2月11日
eレジ　H27年12月13日
レジナビ　H27年7月19日
レジナビ　H27年7月5日
合同説明会　H27年6月27日
レジナビ　H27年3月22日
合同説明会　H27年3月7日
レジナビ　H27年3月1日
レジナビ　H26年7月20日
レジナビ　H26年7月6日
合同説明会　H26年6月28日
0
20
40
60
80
100
2年生
3年生
4年生
5年生
6年生
その他

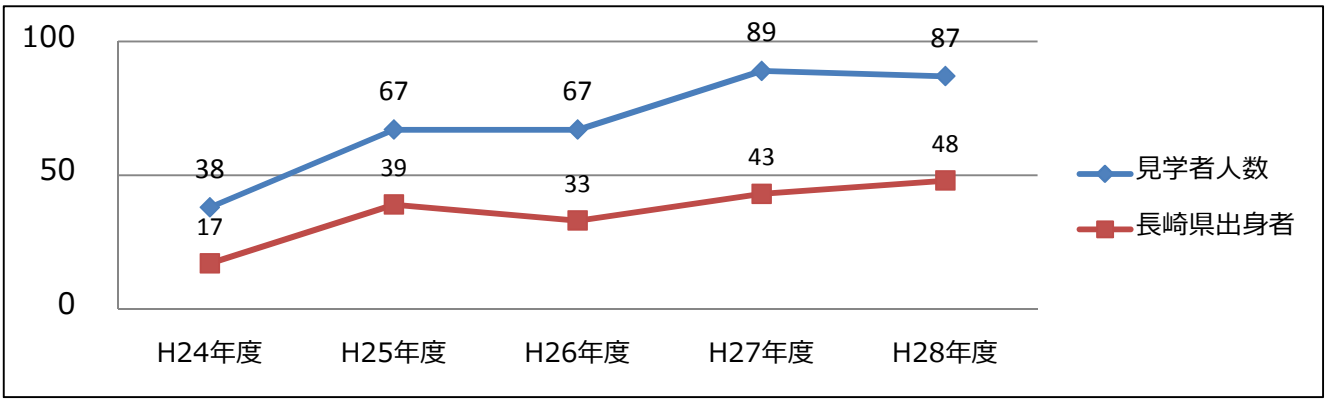
長崎大学病院

長崎大学病院

説明会の様子

⑤ 病院見学

■病院見学者数推移（初期研修）



■大学別病院見学者数

大学名	見学者数					総計
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
佐賀大学	3	9	17	14	19	62
福岡大学	3	6	5	2	10	26
大分大学	1	4	4	7	6	22
鹿児島大学	5	3	3	7	2	20
久留米大学	3	2	5	2	6	18
山口大学	1	1	7	4	2	15
富山大学	1	4	6		3	14
琉球大学	1	2	1	4	2	10
宮崎大学		3	2	1	3	9
島根大学	2		1	2	3	8
産業医科大学		2	1	4	1	8
藤田保健衛生大学	2	2	1		3	8
川崎医科大学	1	1		1	4	7
愛知医科大学	1		1	3	1	6
昭和大学		1	1	3	1	6
近畿大学	1		1	4		6
鳥取大学	1	1		2	2	6
東京医科歯科大学		1	2	3		6
日本大学	1	2		2		5
北海道大学	2	3				5
岩手医科大学	1	2		2		5
金沢医科大学	2			1	1	4
熊本大学	1	1	1		1	4
関西医科大学		1	1	2		4
福島県立医科大学		3			1	4
山梨大学		2		1		3
山形大学		1			2	3
秋田大学		1	1		1	3
東京女子医科大学		1	1	1		3
岐阜大学			1	1	1	3
東邦大学			1	1	1	3
滋賀医科大学				2	1	3
金沢大学				3		3
信州大学	1			1		2
香川大学		1	1			2
旭川医科大学		1		1		2
京都府立医科大学		1		1		2
弘前大学		1			1	2
東京医科大学		1			1	2
奈良県立医科大学			1	1		2
愛媛大学	1					1
群馬大学	1					1
新潟大学	1					1
大阪医科大学		1				1
筑波大学				1		1
徳島大学		1				1
北里大学					1	1
韓国国立釜山大学		1				1
名古屋大学	1					1
福井大学			1			1
防衛医科大学				1		1
兵庫医科大学				1		1
埼玉医科大学				1		1
大阪大学				1		1
千葉大学				1		1
東京大学					1	1
東京医科大学					1	1
京都大学					1	1
浜松医科大学					1	1
九州大学					1	1
高知大学					1	1
Semmelweis University					1	1
合計	38	67	67	89	87	348

2）在宅実習

毎週金曜日（もしくは火曜日）にポリクリ実習の一環として**在宅医療実習**を行っている。救命救急センターで実習中の長崎大学医学部の5年生（平成28年度より研修医も参加）が在宅診療（患者数4～5名）に同行し、実際の在宅医療を学ぶ。

<在宅医療実習の流れ>

タクシーで出発

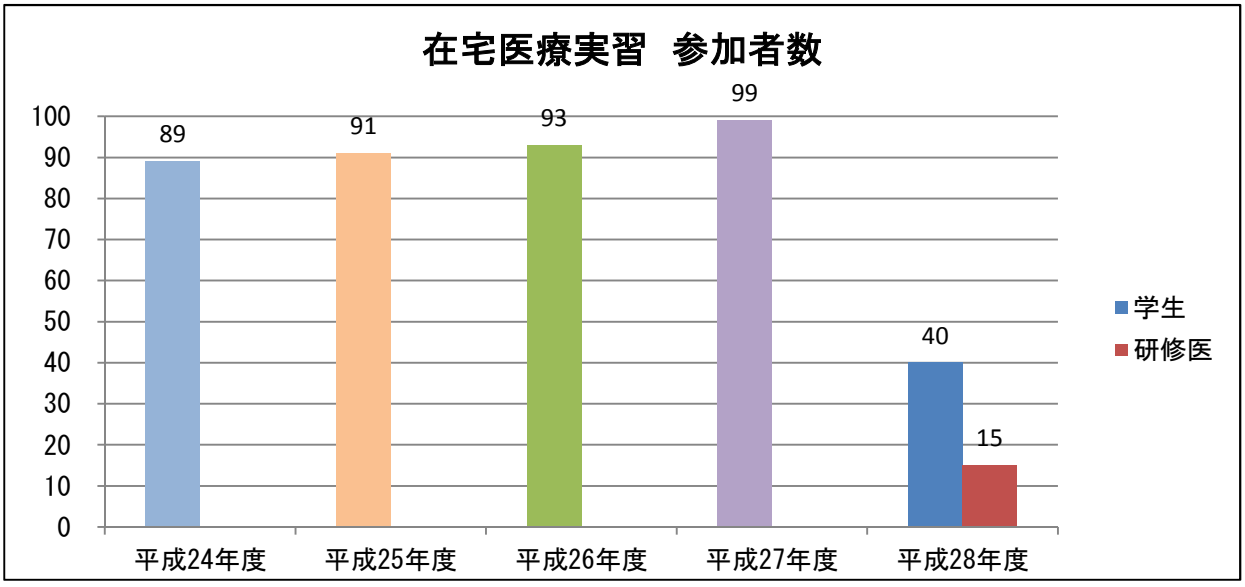
実習内容の詳細を説明

患者さん宅へ

学生が診察

指導医が診察

指導



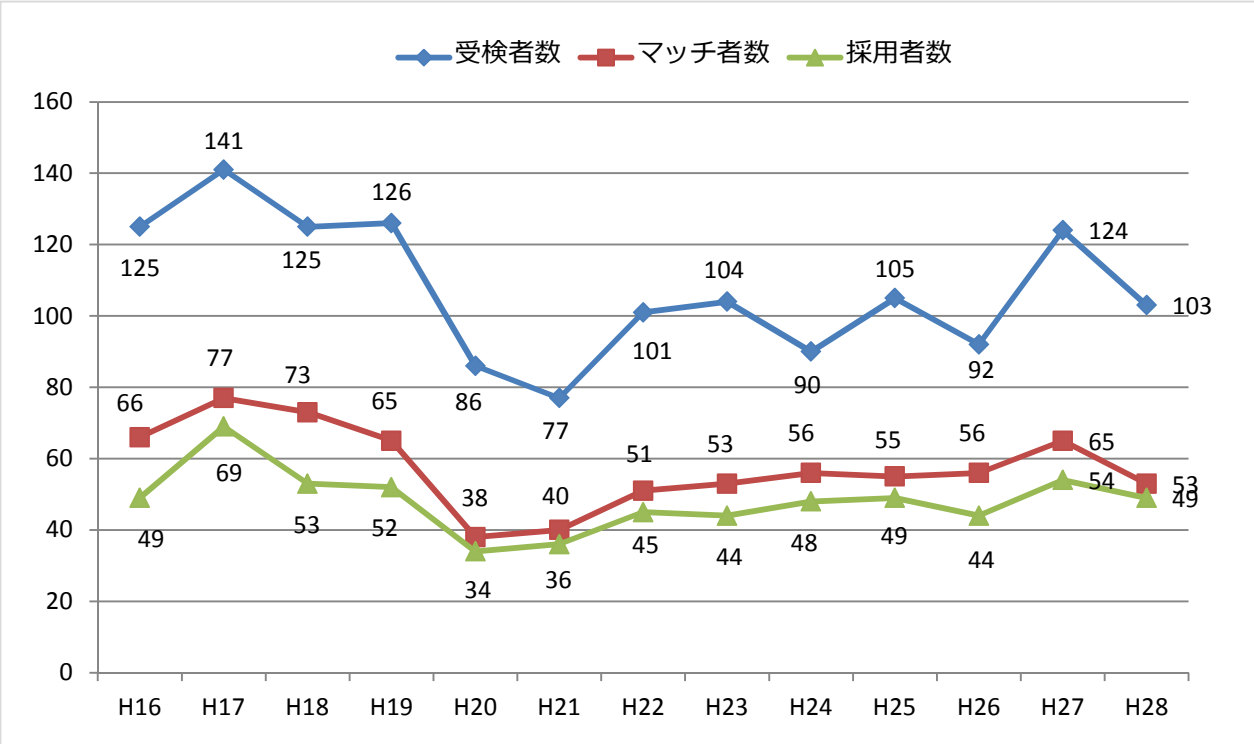
実習後の感想

・実際に患者さんとふれあえて良かったです。
・在宅医療実習での問診のやり方が勉強になった。
・在宅医療実習での問診、バイタル測定が体験できて良かった。
・患者さんが106歳の女性だったのが、すごく印象に残った。こういった超高齢の患者さんへの対応を今後もぜひ勉強したい。
・実際の在宅医療の現場を見ることができて良かった。
・在宅医療実習で、やり方を間近で見ることができ、診療の方法がよく分かった。

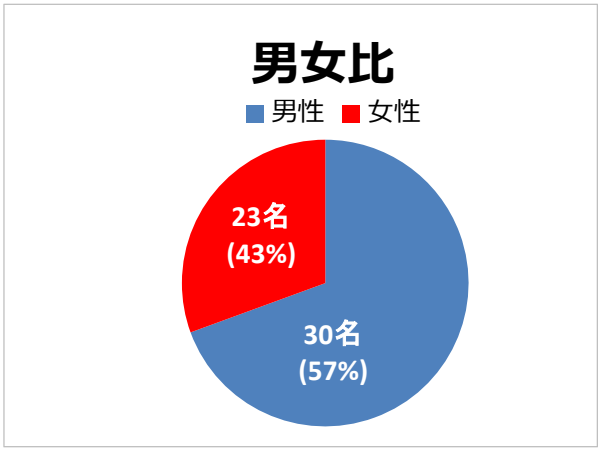
（２）医科 初期臨床研修のために
（学習プログラムなどの整備を行っています）

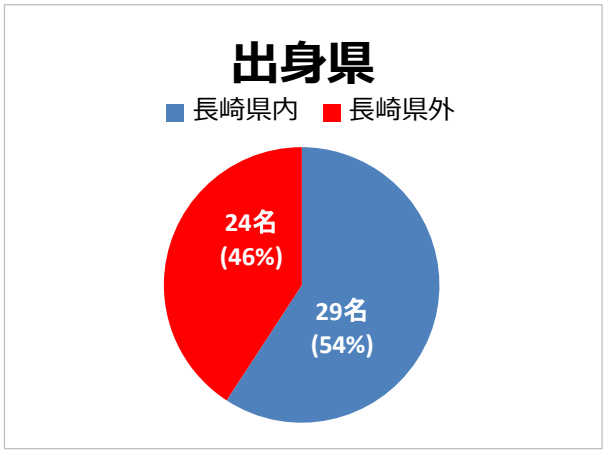
１）研修医数推移（マッチング）

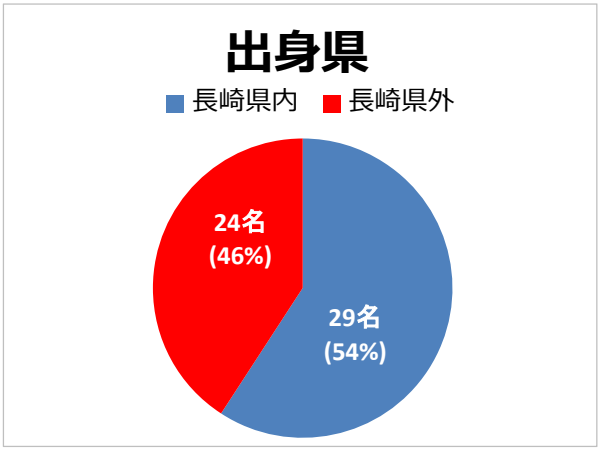
■受験者数、マッチ者数、採用者数の推移



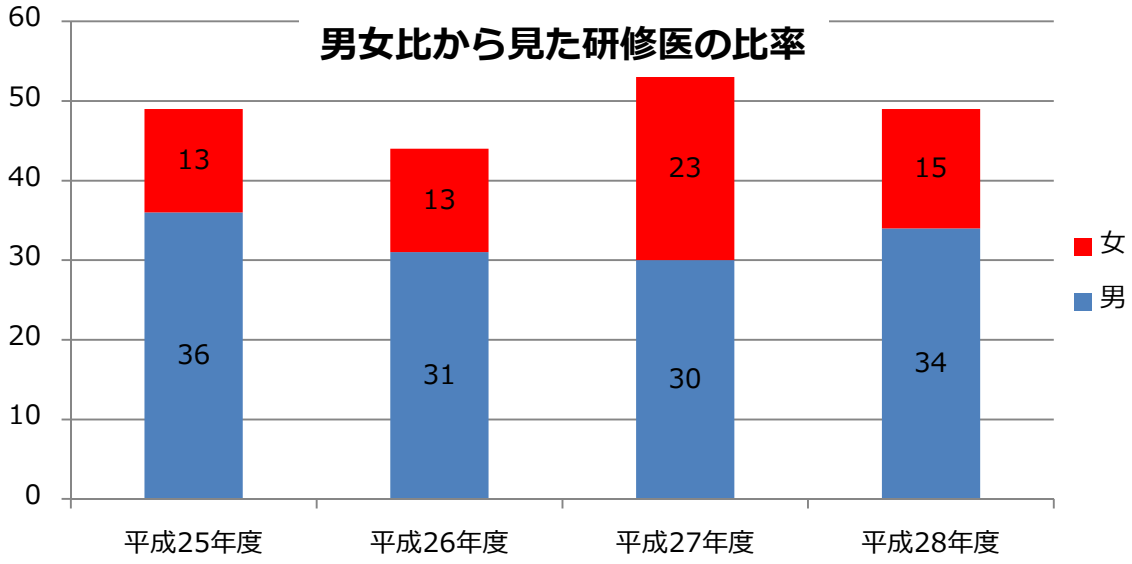
■平成２８年度　採用者の比率

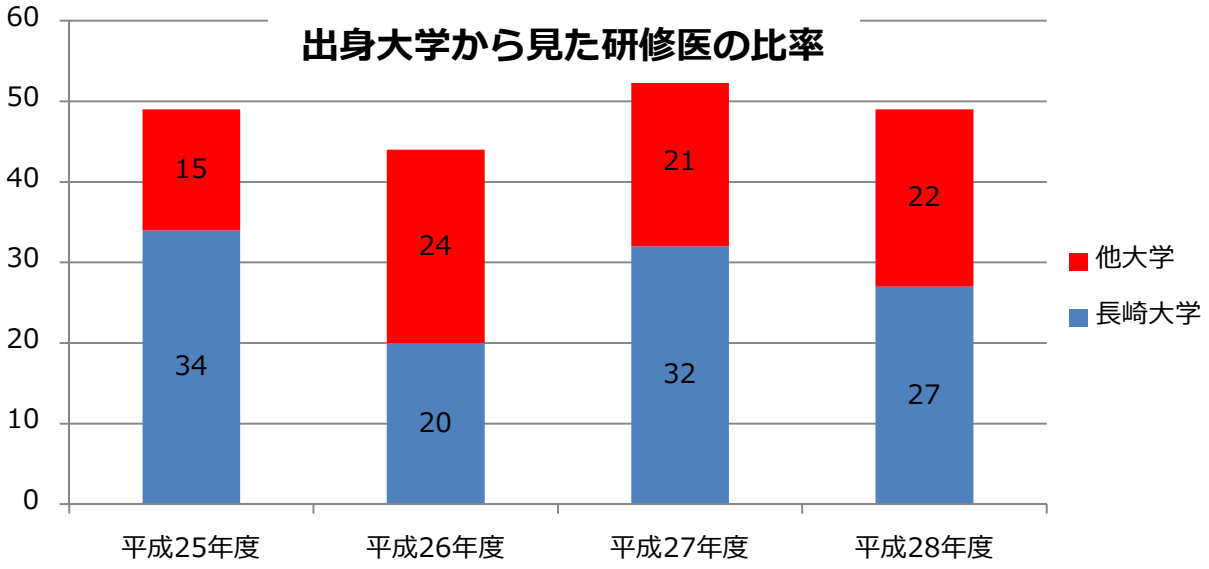


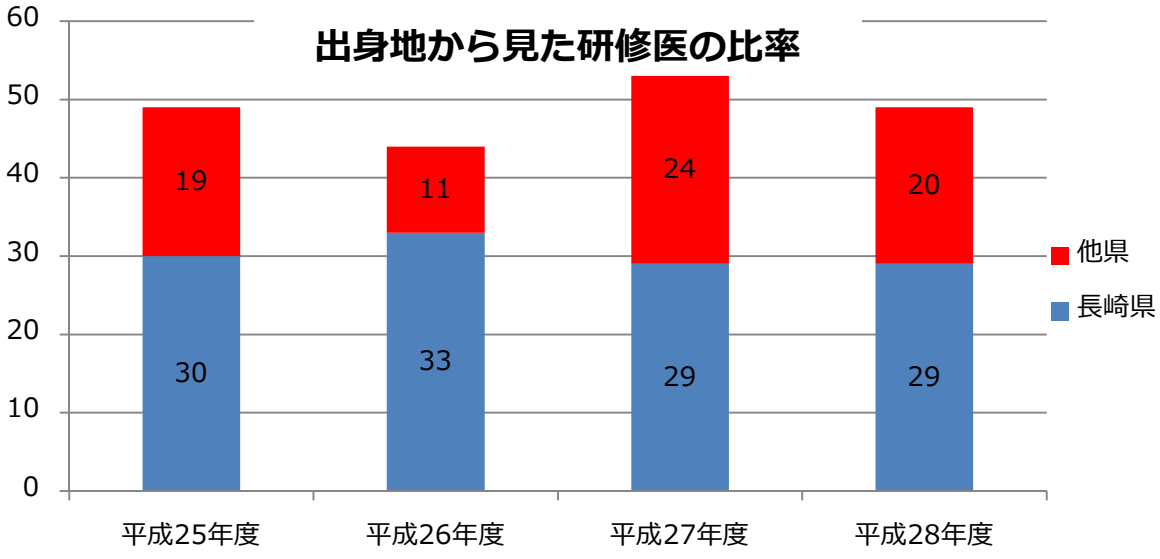




■過去４年間の研修医の比率







2）研修プログラム

平成２８年度プログラム研修スケジュール

長崎大学病院
研修協力病院

募集定員70名

プログラム	コース/サブクラス		研修1年目	研修2年目
基本プログラム（定員66人）	Aコース	A1	長崎大学病院	長崎みなとメディカルセンター市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、上戸町病院、諫早総合病院、白十字会佐世保中央病院、大分県立病院、国立病院機構嬉野医療センター、国立病院機構佐賀病院、済生会長崎病院、市立大村市民病院、北九州市立八幡病院、浜松医療センター、山口県立総合医療センター、北九州総合病院、五島中央病院、長崎県島原病院、国立病院機構長崎川棚医療センター、長崎労災病院、田川市立病院、周南記念病院、聖隷浜松病院、東京ベイ浦安市川医療センター、練馬光が丘病院、聖マリアンナ医科大学病院、東京北医療センター、佐世保共済病院、福岡青洲会病院
			内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)、地域医療(1か月)	選択科(12か月)
			内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(4か月)、地域医療(1か月)	内科(2か月)、選択科(10か月)
		A2（定員2人）	長崎大学病院	国立病院機構長崎医療センター
			内科（3か月）、地域医療(1か月)、選択科（8か月）	総合診療部（3か月）、救急(3か月)、麻酔科（2か月）、選択科（4か月）
	Bコース		長崎みなとメディカルセンター市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、諫早総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、福岡青洲会病院	長崎大学病院
			原則として、内科（6か月）、救急（3か月）、選択科（3か月）	原則として、地域医療（1か月）、選択科（11か月）
	Cコース		長崎大学病院	長崎大学病院
			原則として、内科（6か月）、救急（3か月）、選択科（3か月）	原則として、地域医療（1か月）、選択科（11か月）
	Dコース 注1（新・鳴滝塾トライアングルコース）		長崎大学病院　新・鳴滝塾構成病院A　新・鳴滝塾構成病院B 注2	
			内科（6か月）、救急(3か月)、選択科（14か月）、地域医療（1か月）	
	Eコース（感染症コース）		長崎大学病院	長崎大学病院
			感染(4か月)、内科（4か月）、救急(3か月)、選択科（1か月）	内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択(2か月)、主に感染(7か月)

プログラム	コース	研修1年目	研修2年目
周産期重点プログラム（定員4人）	Aコース	長崎大学病院	基本プログラムAコースA1と同じ研修協力病院
		産婦人科又は小児科（3か月）、内科（4か月）、救急（3か月）、地域医療（1か月）、選択科（1か月）	内科（2か月）、選択科(10か月)
	Bコース	基本プログラムBコースと同じ研修協力病院	長崎大学病院
		内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	産婦人科又は小児科（3か月）、地域医療（1か月）、選択科（8か月）
	Cコース	長崎大学病院	長崎大学病院
		産婦人科又は小児科(3か月)、内科（4か月）、救急(3か月)、選択科（2か月）	内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択科（9か月）
	Dコース 注1（新・鳴滝塾トライアングルコース）	長崎大学病院　新・鳴滝塾構成病院A　新・鳴滝塾構成病院B 注2	
		産婦人科又は小児科（3か月）、内科（6か月）、救急(3か月)、選択科（11か月）、地域医療（1か月）	

※特別コース

基本プログラム	全コース	内科専門医育成ハブセンター初期研修コース 外科専門医育成ハブセンター初期研修コース 家庭医･総合医コース 精神科特化コース

※アカデミック（大学院進学）コース（NU-CLEAR コース）

基本プログラム	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院のみ
周産期重点プログラム	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院のみ

注1：長崎大学病院で地域医療1か月を含む9か月以上研修し、残りを本院以外の新・鳴滝塾構成病院16病院中2病院で研修する。

注2：新・鳴滝塾の構成病院　長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、国立病院機構長崎医療センター、市立大村市民病院、諫早総合病院、長崎県島原病院、佐世保市立総合病院、長崎労災病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院、

平成２９年度プログラム研修スケジュール

長崎大学病院
研修協力病院

募集定員70名

プログラム	コース/サブクラス		研修1年目	研修2年目
基本プログラム（定員66人）	Aコース	A1	長崎大学病院	長崎みなとメディカルセンター市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、上戸町病院、諫早総合病院、白十字会佐世保中央病院、大分県立病院、国立病院機構嬉野医療センター、国立病院機構佐賀病院、済生会長崎病院、市立大村市民病院、北九州市立八幡病院、浜松医療センター、山口県立総合医療センター、北九州総合病院、五島中央病院、長崎県島原病院、国立病院機構長崎川棚医療センター、長崎労災病院、田川市立病院、周南記念病院、聖隷浜松病院、東京ベイ浦安市川医療センター、練馬光が丘病院
			内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(2か月)、地域医療(1か月)	選択科(12か月)
			内科(4か月)、救急(3か月)、選択科(4か月)、地域医療(1か月)	内科(2か月)、選択科(10か月)
		A2（定員2人）	長崎大学病院	国立病院機構長崎医療センター
			内科（3か月）、地域医療(1か月)、選択科（8か月）	総合診療部（3か月）、救急(3か月)、麻酔科（2か月）、選択科（4か月）
	Bコース		長崎みなとメディカルセンター市民病院、佐世保市立総合病院、日本赤十字社長崎原爆病院、諫早総合病院	長崎大学病院
			原則として、内科（6か月）、救急（3か月）、選択科（3か月）	原則として、地域医療（1か月）、選択科（11か月）
	Cコース		長崎大学病院	長崎大学病院
			原則として、内科（6か月）、救急（3か月）、選択科（3か月）	原則として、地域医療（1か月）、選択科（11か月）
	Dコース 注1（新・鳴滝塾トライアングルコース）		長崎大学病院　新・鳴滝塾構成病院A　新・鳴滝塾構成病院B 注2	
			内科（6か月）、救急(3か月)、選択科（14か月）、地域医療（1か月）	
	Eコース（感染症コース）		長崎大学病院	長崎大学病院
			感染(4か月)、内科（4か月）、救急(3か月)、選択科（1か月）	内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択(2か月)、主に感染(7か月)

プログラム	コース	研修1年目	研修2年目
周産期重点プログラム（定員4人）	Aコース	長崎大学病院	基本プログラムAコースA1と同じ研修協力病院
		産婦人科又は小児科（3か月）、内科（4か月）、救急（3か月）、地域医療（1か月）、選択科（1か月）	内科（2か月）、選択科(10か月)
	Bコース	基本プログラムBコースと同じ研修協力病院	長崎大学病院
		内科(6か月)、救急(3か月)、選択科(3か月)	産婦人科又は小児科(3か月)、地域医療（1か月）、選択科(8か月)
	Cコース	長崎大学病院	長崎大学病院
		産婦人科又は小児科(3か月)、内科（4か月）、救急(3か月)、選択科(2か月)	内科(2か月)、地域医療(1か月)、選択科(9か月)
	Dコース 注1（新・鳴滝塾トライアングルコース）	長崎大学病院　新・鳴滝塾構成病院A　新・鳴滝塾構成病院B 注2	
		産婦人科又は小児科（3か月）、内科（6か月）、救急(3か月)、選択科（11か月）、地域医療（1か月）	

※特別コース

基本プログラム	全コース	内科専門医育成ハブセンター初期研修コース 外科専門医育成ハブセンター初期研修コース 家庭医・総合医コース 精神科特化コース

※アカデミック（大学院進学）コース（NU-CLEAR コース）

基本プログラム	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院のみ
周産期重点プログラム	長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院のみ

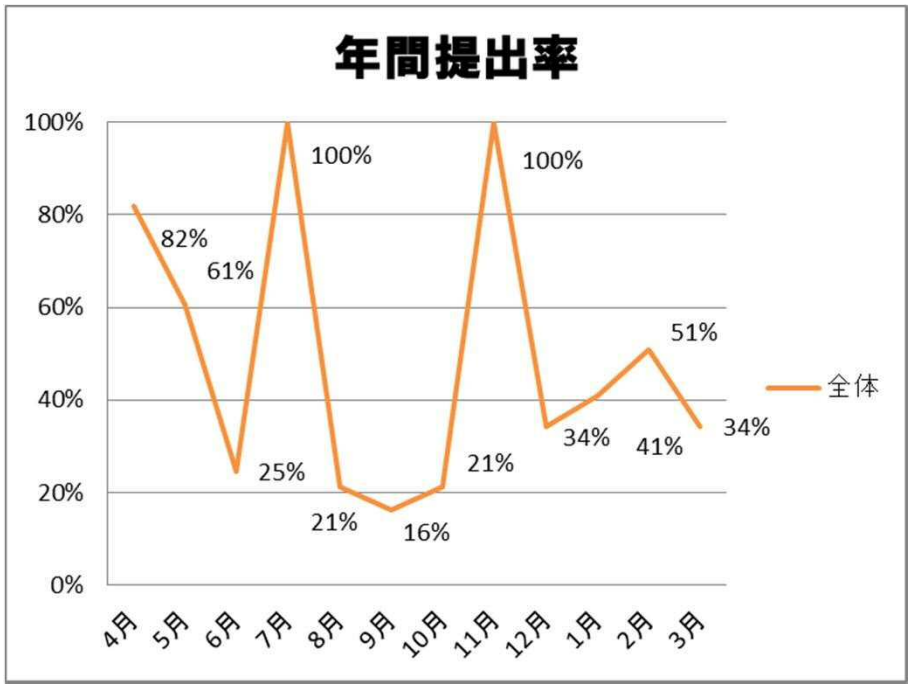
注1：長崎大学病院で地域医療1か月を含む9か月以上研修し、残りを本院以外の新・鳴滝塾構成病院16病院中2病院で研修する。

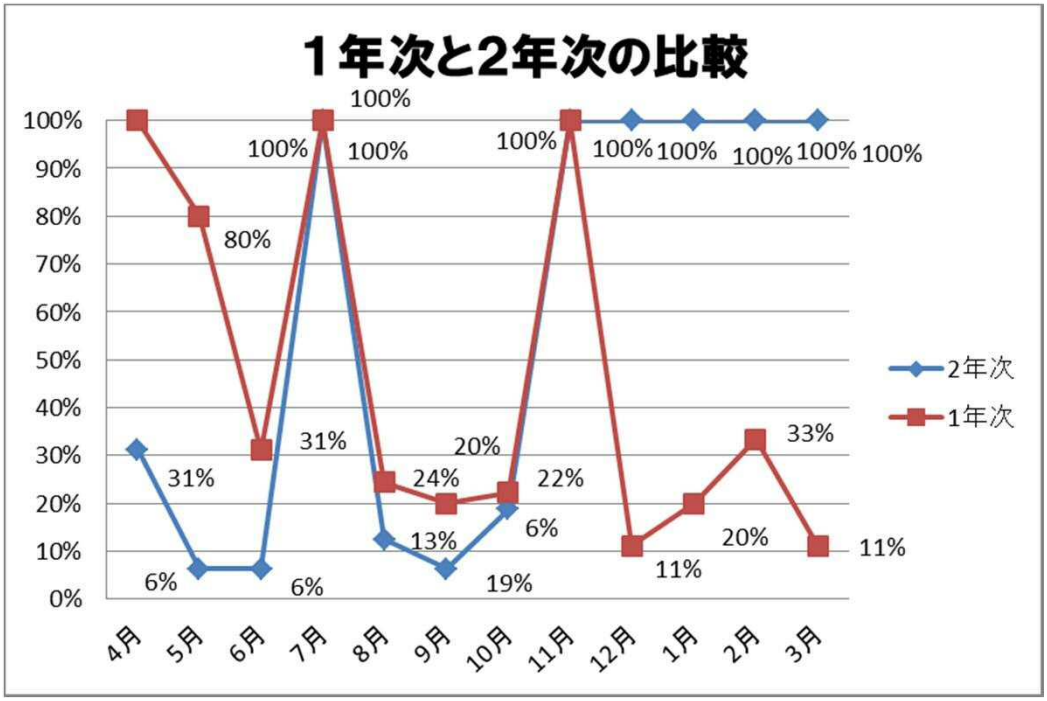
注2：新・鳴滝塾の構成病院　長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター市民病院、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院、長崎北徳洲会病院、国立病院機構長崎医療センター、市立大村市民病院、諫早総合病院、長崎県島原病院、佐世保市立総合病院、長崎労災病院、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院、長崎県対馬いづはら病院

3）ポートフォリオ

初期研修修了規定に基づき大学病院にて作成したポートフォリオを毎月月末に提出させ進捗状況を把握している。
平成２８年度は大学病院内に在籍している61名（1年次45名、2年次16名）とたすきがけにて関連病院在籍の43名（1年次5名、2年次38名）の経験症例や、レポート、フィードバックシートをセンター担任がチェック。関連病院研修中の研修医のチェックは年2回行われるセンター長との面談時に行う。毎年年度末の2月に管理委員会が開催され合否が確定されるため、2年次の12月迄に必須・選択・地域研修を経験しレポートが完成されるよう研修医に告知する。

■提出状況





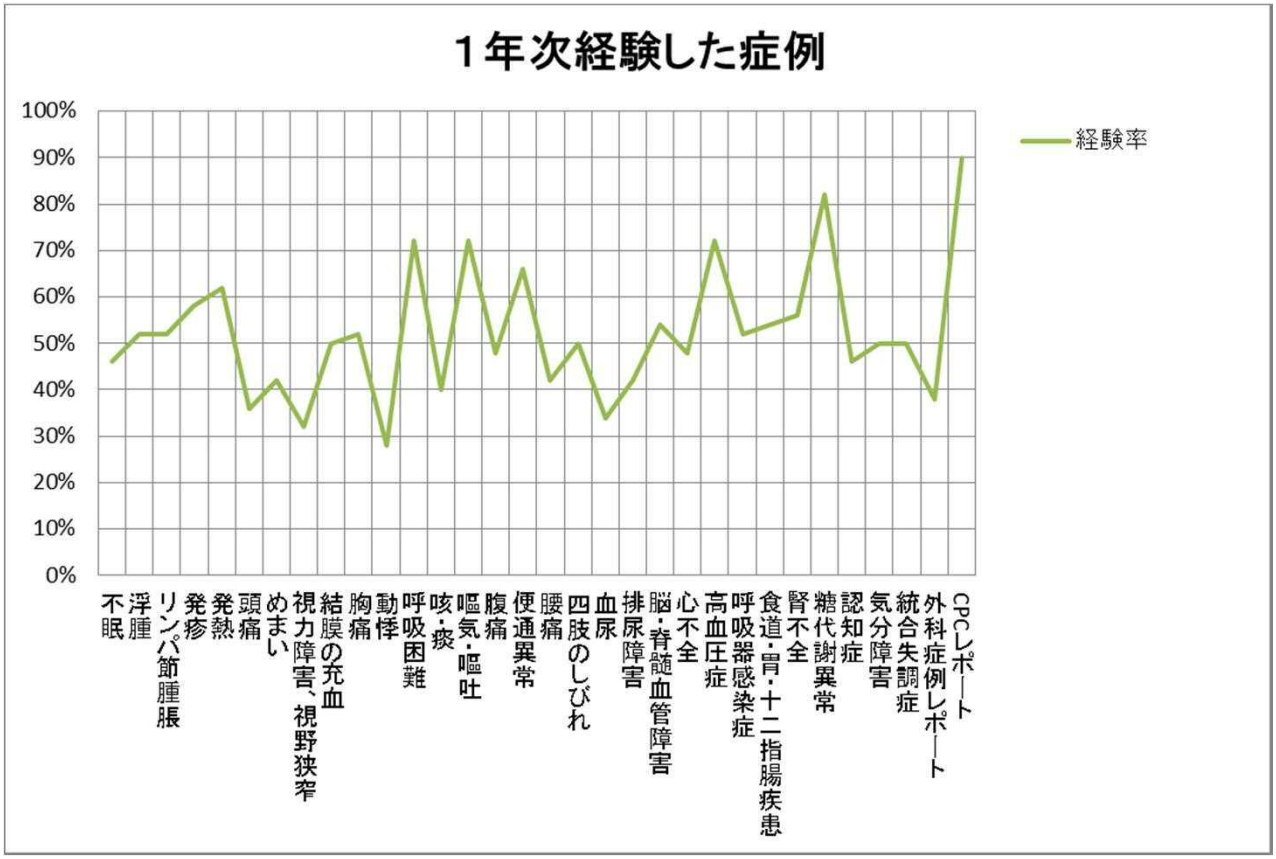
■星取表

フィードバックシート提出状況（H28.11.10）

氏名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	○	○	○	○	○	○	○	○				地域
B	○	○	○	○	○	○	○	○		地域		
C	○	○	○	○	○	○	○	○		地域		
D	○	○	○	○	○	○	地域					
E	○	○	○	○	○	地域	○	○				
F	○	○	○	○	○	○	○	地域				
G	○	○	○	○	地域	○	○					
H	○	○	○	○	○	地域	○					
I	○	○	○	○	○	○	○	地域				
J	○	○	○	○	○	○	○			地域		
K	○	○	○	○	○	○	○	地域				
L	○	○	○	○	○	○	○	地域				
M	○	○	○	○	○	地域	○					
N	○	○	○	○	○	○	○					
O	○	○	○	○	○	○	地域					
P	○	○	○	○	○	○	○	地域				
Q	○	○	○	○	○	○	○					
R	○	○	○	○	○	○	○					
S	○	○	○	○	○	○	○					
T	○	○	○	○	○	○	○	○				
U		○	○	○	○	○	○	○				
V	○	○	○	○	○	○	○	○	地域			
W	○	○	○	○	○	○	○	○				
X	○	○	○	○	○	○	○	○				
Y	○	○	○	○	○	○	○	地域				
Z	○	○	○	○	地域	○	○					
AA	○	○	○	○	○	○	地域					
AB	○		○	○	○	○	○			地域		
AC	○	○	○	○	○	地域	○					
AD	○	○	○	○	○	○	○		地域			
AE	○	○	○	○	○	○	○		地域			
AF	○	○	○	○	○	○	○				地域	
AG	○	○	○	○	○	○	○				地域	
AH	○	○	○	○	○	○	○			地域		
AI	○	○	○	○	○	○	○				地域	
AJ	○	○	○	○	○	○	地域	地域	地域			
AK	○	○	○	○	○	○	○		地域			
AL	○	○	○	○	○	○	○					
AM	地域	地域	地域	○	○	○	○					
AN	○	○	○	○	○	○	○		地域			
AO	○	○	○	地域	地域	○	○					
AP	○	○	○	○	○	地域	○			地域	地域	地域
AQ	○	○	○	○	○	○	○	地域	地域	地域	地域	地域
AR	○	○	○	地域	地域	地域	地域	地域	地域	地域	地域	地域
AT	○	○	○	○	○	○	○		地域			
AU	○	○	○	○	○	○	○			地域	地域	地域
AV	○	○	○	○	○	○	○					

症例レポート状況（H28/11/10現在）

1	不眠	○			○	○	○	○				○	○	○		○	○	○		○	○		
2	浮腫	○	○		○	○	○	○		○		○	○	○		○	○				○		
3	リンパ節腫脹	○			○		○			○	○	○		○		○	○			○	○	○	
4	発疹	○		△	○	○	○		○			○	○	○	○		○	○		○	○	○	
5	発熱	○	○				○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
6	頭痛				○			○		○	○	○	○			○	○				○		
7	めまい			○				○	○			○		○			○		○		○		
8	視力障害、視野狭窄			○				○				○	○	○			○				○		○
9	結膜の充血		○		○		○	○		○	○	○	○	○			○			○	○		
10	胸痛					○					○	○		○	○		○	○		○			
11	動悸											○	○		○		○		○		○		
12	呼吸困難	○		○	○		○	○		○	○	○	○			○	○			○	○	○	○
13	咳・痰	○									○	○		○			○	○		○	○		
14	嘔気・嘔吐	○	○	○			○		○	○		○	○	○		○	○	○		○		○	○
15	腹痛	○	○				○		○	○		○	○	○			○		○		○		○
16	便通異常		○	○	○		○	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○
17	腰痛		○				○				○	○	○	○			○	○			○	○	
18	四肢のしびれ	○		○	○	○	○			○		○	○			○	○					○	○
19	血尿						○			○		○	○	○	○					○	○		
20	排尿障害		○	○			○			○		○			○	○	○	○		○	△	○	
21	脳・脊髄血管障害			○	○		○		○	○		○	○					○	○	○	○	○	
22	心不全		○									○	○		○	○	○			○	○		
23	高血圧症	○	○		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
24	呼吸器感染症	○						○		○	○	○	○	○	○		○			○	○		○
25	食道・胃・十二指腸疾患		○				○		○	○		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○
26	腎不全		○		○		○		○			○	○				○		○	○	○		○
27	糖代謝異常				○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
28	認知症				○	○	○	○	○		○	○	○				○			○			○
29	気分障害			○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○			○			
30	統合失調症		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○			○			○			
31	外科					○	○	○		○		○	○				○	△	○	○	○	○	
32	CPC					○	○					○	○	○			○			○			
	合計	12	13	11	14	12	23	14	12	16	15	25	27	22	12	12	31	11	11	24	22	12	12



５）短期海外研修（ハワイ大学）

医学教育で世界的に有名なハワイ大学と提携し、救急対応の技術をみっちり学び、英語環境に触れて、ハワイも楽しめるプロジェクトを毎年開催。また、このハワイ研修には指導医も同行し、そこで体験した最先端のプログラムを積極的に取り入れることで当院のシミュレーション教育も常に進化し続けている。

平成28年度　ハワイ大学短期研修参加者

No. (50音順)	年次	氏名	現研修病院	研修時の診療科
1	2年次	石井　拓馬	佐世保市総合医療センター	腎臓内科
2	2年次	江藤　真実	長崎原爆病院	循環器内科
3	2年次	佐藤　十紀子	長崎大学病院	リウマチ・膠原病内科
4	2年次	冨田　祐輝	長崎原爆病院	呼吸器内科
5	2年次	野口　将司	長崎原爆病院	内科
6	1年次	植田　真由	長崎大学病院	精神科神経科
7	1年次	坂井　健二	長崎大学病院	循環器内科
8	1年次	佐々口　祐子	長崎大学病院	小児科
9	1年次	錦戸　慎平	長崎大学病院	内分泌・代謝内科
10	1年次	濵本　琢郎	長崎大学病院	麻酔科
11	1年次	松島　由典	長崎大学病院	放射線科

※　指導医　宮本　俊之　（医療教育開発センター　准教授）

平成28年度　ハワイ大学短期研修日程表

日　付		地　名	時刻	交通機関	コース
1	09/24 （土）	福岡 ホノルル	19:00 08:35	DL598 ﾂｱｰﾊﾞｽ	福岡空港にて、各自、チェックイン 出国手続き後、デルタ航空直行便にて、ホノルルへ 到着後、入国手続き、1 階ターンテーブルにてお荷物のお受け取り、税関検査通過後、 係員がお出迎え、ワイキキホテルへ ご案内チェックイン後、自由行動
2	09/25 （日）	ホノルル			終日、自由研修
3	09/26 （月）	ホノルル			終日、研修
4	09/27 （火）	ホノルル			終日、研修
5	09/28 （水）	ホノルル			終日、研修
6	09/29 （木）	ホノルル			終日、研修
7	09/30 （金）	ホノルル			終日、研修
8	10/01 （土）	ホノルル	12:25	ﾂｱｰﾊﾞｽ DL599	係員がホテルより、空港へご案内 出国手続きを終えデルタ航空直行便にて 一路、帰国の途へ
9	10/02 〈日〉	福岡	17:15		福岡空港到着後、入国手続、税関検査後解散 おつかれさまでした

参加者からの感想（抜粋）

●終わってみるとあっという間の1週間でした。研修が始まる前は英語のコミュニケーションなど自分が研修を無事に終えられるのか不安でしたが、振り返ってみるととても楽しく研修ができたのではと思います。この1週間で一番感じたのはチーム医療の大切さです。お互いにコミュニケーションを取り合い、どのような役割を果たせばチームが上手く機能するか、患者さんのために繋げて行きたいです。

●英語で発言し先生達とディスカッションできたのが非常にいい経験になりました。また、将来の留学への大きなモチベーションとなりました。全日程を通して感じたことは、言語の壁を越えれば医学という共通認識のなかで対等なやりとりが可能であるということです。医療英単語や独特の言い回しなどを習得しようという新たな目標ができたことも今回の研修での収穫でした。このような機会を設けていただいた医療教育開発センターのみなさんに心から感謝いたします。ありがとうございました。

●救急対応を学ぶことが中心でしたが、初めから疾患名がわかって病院に来る方は紹介患者を除いていないので、そういった意味での初期対応、また医療従事者間のコミュニケーションの大切さ、思ったことを口に出して、医療者間で連絡を取り合い、時にディスカッションを行うことの大切さを学んだ5日間だったように感じました。

6）無料英会話教室

開催日時：毎週火曜日　19：００～21：00
開催場所：長崎大学病院　医療教育開発センター　教授室
目　　的：若手医師へより高度な英会話力を身につけさせることを目的とする。
講　　師：Luc Loosveldt
対 象 者：長崎大学　初期研修医

参加した研修医の先生のコメント

・研修医室で気軽に参加できるのが嬉しい。
・語学力は将来に絶対必要となるから、勉強の機会を設けてもらえて助かる。
・息抜きになる、楽しい！

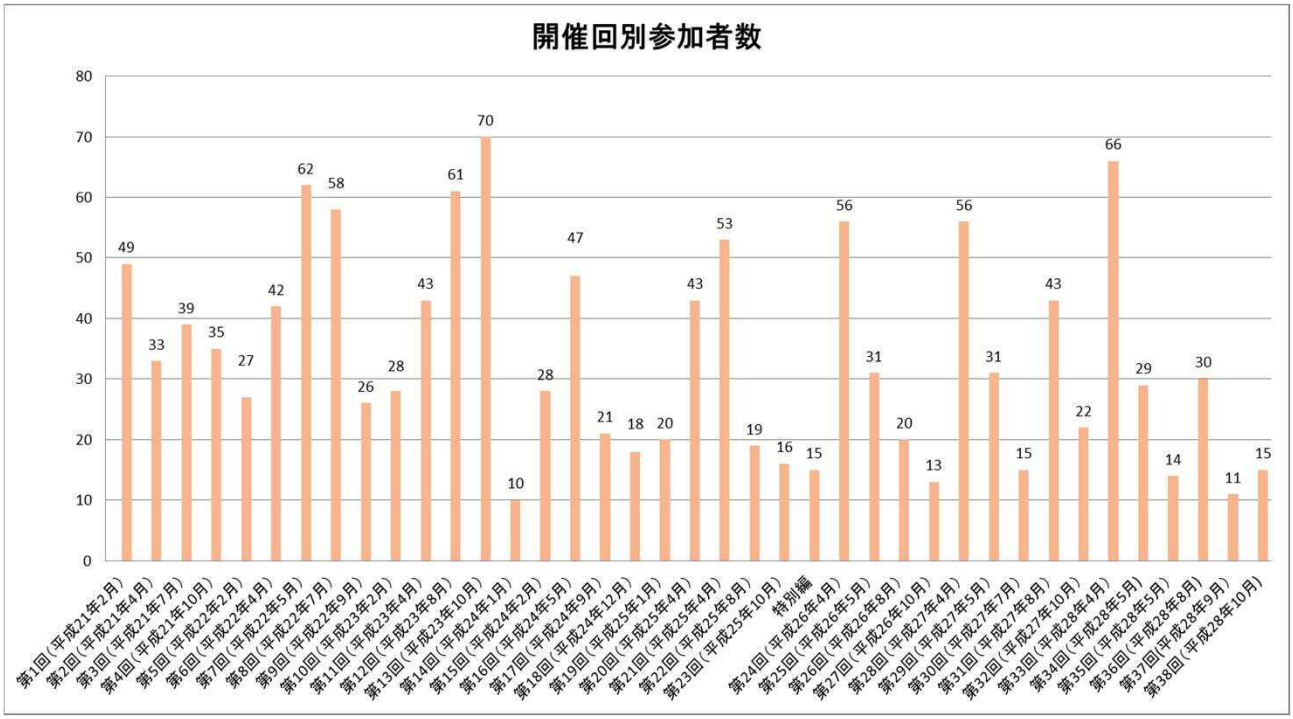
7）セミナー

①実力アップセミナー

実力アップセミナーとは、長崎県の初期及び後期研修医の技術・知識・態度の向上のために、定期的に当センター主催で開催されるセミナーで、内容によっては、学生や他職種の人も参加できるようにし、大学間のみならず、地域の指導医と院内外の参加者との交流ができた。

■参加者内訳

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加人数	216名	212名	106名	146名	120名	167名	165名



■参加者内訳（平成２８度開催セミナー）

	実施日	内容	定員	応募者数	出席者数	参加者内訳		勤務先内訳		満足度(5点満点)
第33回	H28.4.24	心電図道場	40人	68人	**66人**	研修医(1年)	65人	長崎大学病院	39人	5点：77% 4点：23% 3点：0%
						研修医(2年)	1人	嬉野医療センター	6人	
								長崎みなとメディカルセンター市民病院	2人	
								長崎医療センター	16人	
								佐世保総合病院	1人	
								済生会長崎病院	2人	
第34回	H28.5.15	身体診療	20人	31人	**29人**	研修医(1年)	28人	長崎大学病院	24人	5点：80% 4点：17% 3点：3%
						医員	1人	長崎みなとメディカルセンター市民病院	2人	
								長崎原爆病院	2人	
								長崎医療センター	1人	
第35回	H28.5.26	マイノート作成方法	20人	21人	**14人**	研修医(1年)	14人	長崎大学病院	14人	5点：80% 4点：17% 3点：3%
第36回	H28.8.19	救急	50人	34人	**30人**	助教	3人	長崎大学病院	28人	5点：93% 4点：7% 3点：0%
						修練医	1人	済生会長崎病院	1人	
						研修医(2年)	1人	長崎原爆病院	1人	
						研修医(1年)	25人			
第37回	H28.9.5	EBM	20人	14人	**11人**	助教	1人	長崎大学病院	9人	5点：91% 4点：9% 3点：0%
						研修医(1年)	8人	長崎大学病院(医学部)	1人	
						学生	1人	長崎大学(医学部図書館)	1人	
						事務	1人			
第38回	H28.10.14	問診	30人	17人	**15人**	講師	1人	長崎大学病院	13人	5点：53% 04点：47% 3点：0%
						助教	1人	長崎原爆病院	1人	
						研修医(2年)	1人	長崎市消防局	1人	
						研修医(1年)	11人			
						コメディカル	1人			

■セミナー内容

第33回 若手医師のための実力アップセミナー　～心電図道場～

開催日時：平成28年4月24日（日）祝日 13：00～17：00
開催場所：長崎大学病院　第4講義室
内　　容：心電図の読み方の講義（実践的基本）、個別添削方式心電図道場
対 象 者：長崎県内の初期研修医（定員40名）
参加人数：研修医 66名 （1年次65名、2年次1名）
　　指導医 １３名 （長崎大学6名、佐賀大学1名、その他6名）

第34回 若手医師のための実力アップセミナー　～身体診療～

開催日時：平成28年5月15日（日）　10：00～13：00
開催場所：長崎大学病院　第4講義室
内　　容：どこまでやれる？身体診療～明日から使える身体診察のポイント～
対 象 者：長崎県内の研修医・医師（定員20名）
参加人数：研修医 29名 （1年次28名、医員1名）

第35回 若手医師のための実力アップセミナー　～マイノート作成方法～

開催日時：平成28年5月26日（木）　19：00～20：00
開催場所：長崎大学病院　研修医セミナー室（外来棟7F）
内　　容：できる研修医と呼ばれるために！～信頼を勝ち取るメモとマイノートの作り方～
対 象 者：長崎県内の研修医・医師（定員20名）
参加人数：研修医 14名 （1年次14名）

第36回 若手医師のための実力アップセミナー　～林先生講演会～

開催日時：平成27年8月19日（金）　18：30～20：30
開催場所：長崎大学病院　研修医セミナー室（外来棟7F)
内　　容：林先生講演会『Unsuspected killer in ER～疑うものは救われる～』
対 象 者：長崎県内の研修医、指導医、病院職員（定員50名）
参加人数：研修医 26名 （1年次25名、2年次1名）
　　修練医1名、助教3名

第37回 若手医師のための実力アップセミナー　～EBM～

開催日時：平成28年9月5日（月）　18：30～20：30
開催場所：長崎大学病院　研修医セミナー室（外来棟7F)
内　　容：EBMワークショップ～診療現場で効率よく情報収集して問題解決しよう！～
対 象 者：長崎県内の研修医、指導医、病院職員（定員20名）
参加人数：研修医 8名 （1年次8名）
　　助教1名　コメディカル1名　学生1名

第38回若手医師のための実力アップセミナー　～問診～

開催日時：平成28年10月14日（金）18：00～20：00
開催場所：長崎大学病院　研修医セミナー室（外来棟7F)
内　　容：「この秋こそ、神経診察をモノにする！」
対 象 者：長崎県内の研修医、指導医、病院職員（定員30名）
参加人数：研修医 12名 （1年次11名、2年次1名）
　　講師1名　助教1名　コメディカル1名

質問内容		回答率（%）					
		第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回
１．現在の学年	初期1年次	97	97	100	83	73	60
	初期2年次	3	-	-	3	-	7
	修練医	-	-	-	3	-	-
	それ以上	-	3	-	11	-	26
	その他	-	-	-	-	27	7
２．性別	男	65	62	79	70	82	93
	女	35	38	21	30	18	7
３～６　講師について							
３．配布された資料はよくまとめられており、わかりやすかった	期待以上	61	66	71	80	36	67
	期待どおり	39	34	29	20	55	33
	期待はずれ	-	-	-	-	9	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
４．講師の説明は明確でわかりやすかった	期待以上	77	72	71	90	64	80
	期待どおり	23	28	29	10	36	20
	期待はずれ	-	-	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
５．講師は受講者の話をよく聞き、興味・試行・議論・質問を促した	期待以上	82	66	79	97	55	73
	期待どおり	18	34	21	3	45	27
	期待はずれ	-	-	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
６．講師は資料等をうまく使っていた	期待以上	79	62	71	90	55	67
	期待どおり	21	38	29	10	36	33
	期待はずれ	-	-	-	-	9	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
７～８　環境について							
７．セミナーは明るく良い雰囲気だった	期待以上	80	69	64	97	64	87
	期待どおり	20	31	36	3	36	13
	期待はずれ	-	-	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
８．部屋の環境は快適だった	期待以上	73	66	79	87	73	73
	期待どおり	27	34	21	13	27	27
	期待はずれ	-	-	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
９～１１　セミナー全体について							
９．セミナーは期待したとおりの内容だった	期待以上	79	72	79	90	55	60
	期待どおり	21	28	21	10	45	40
	期待はずれ	-	-	-	-	-	-
	コメントできない	-	-	-	-	-	-
１０．全体を通しての総合点を5点満点で採点して下さい。	５点	77	80	-	93	91	53
	４点	23	17	80	7	9	47
	３点	-	3	20	-	-	-
	２点	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
１１．次回も参加したいと思いますか？	参加したい	100	100	100	100	100	100
	無回答	-	-	-	-	-	-

アンケートで回答いただいたコメントの一例　（第33回　心電図セミナーより）

今後実施して欲しいセミナーの内容を教えてください。	セミナーに参加して最も良かった点、改善すべき点や希望を教えてください。	セミナーに参加して学んだことを教えてください。
心エコー（ICLS的なもの）	心電図に取り組むきっかけとなって良かった。	心電図の基礎
輸液・栄養管理	5：1で指導していただき質問しやすかった。	心電図を考える上で基本的なアプローチ法
手技	少人数だったので、先生に質問しやすく、疑問がその場で解決できた。	きちんとリズムから考えて系統立てて読むこと。
抗菌薬の使い方	心電図への抵抗感がなくなり、身近に感じることができた。	いろいろな心電図を見て疾患を考えることができた。
身体診療などの手技（心音や呼吸音）	個別に教えて頂けてすごくわかりやすかった。	疑問点が解決できた。
輸液	講師の先生より、診断のその先（治療、検査、問診など）まで教えてもらえたこと。	緊急性を要する疾患を見逃さないこと。
総合診療、ファーストタッチなど	優しく基礎から教えてもらい良かった。	心電図の基本知識と考え方。
心電図、胸部XPまでの検査所見の見方	グループの人数や、環境がちょうどよかった。	とても丁寧に教えていただき勉強になった。
画像の読影	少人数で教えてもらえた点がよかった。	心電図を読むことだけじゃく沢山学べた。
救急対応	国試の時から持っていた疑問点が解決できた。	何度も繰り返して、すぐにフィードバックを受けること。
画像診断（CT、MRI、胸部線）	基準値を覚えなおすことができた。	ぱっと見て異常あるかないかの感覚。

これまでに“心電図道場”を７年間続けてきた結果、セミナーに参加し、実際に循環器内科に入局した人の数は、平成２２年度より各年度１名ずつあった。平成２８年度は３名入局した。

② 災害研修セミナー

平成28年6月18日（土）、新人の研修医と看護師を対象とした院内研修「新人研修医＆新人看護師合同 災害研修セミナー」を実施した。本研修のテーマは「医療人として災害に備えよう」。免許を取得したばかりの医療人が災害に遭遇した場合に、効率よく対応できるように、トリアージ（ふるい分け）の基本知識を学ばせ、チームワークークの重要性を認識させることを目的にしている。今回は研修医49名、看護師40名の合計89名が参加した。

ⅰ．開催日時　　平成28年6月18日（土）
ⅱ．開催場所　　長崎大学病院第４講義室
　　中央診療棟４階シミュレーションセンターなど
ⅲ．対 象 者　　研修医１年次、新人看護師
ⅳ．参加者数　　（研修医は全員参加）

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
研修医	37人	36人	42人	39人	46人	49人
新人看護師	41人	36人	37人	43人	39人	40人
合計	78人	72人	79人	82人	85人	**89人**

ⅴ．内容
a.トリアージ実習
b.机上シミュレーション
c.講演

a.トリアージ実習

多くの負傷者が出たときに、患者の重症度、緊急性をみて治療の優先順位を決める訓練。チームワークが求められるだけに、まずはグループ内で自己紹介をして 親睦を深めた。
その後、実習内容について宮本俊之先生から説明があり、研修医２年次の先輩医師がお手本の寸劇を見せた。
実際の実習では、グループ毎に症例の違う7ブースを回り、一人一症例は必ず体験する。

b.机上シミュレーション

訓練内容は大災害が発生したと仮定して、長崎大学病院に運ばれてくる多数の負傷者の受け入れ態勢を整えるというもの。長崎大学病院の平面図に病院長、各診療科の医師、看護部長、研修医、看護師などの役職を示すマグネットを配置。対策本部や診療スペースはどこにすべきか、どのような人員配置が有効的か……など、グループごとに意見を出し合ってまとめる。最後にはグループごとに発表する。

c.講演

聖隷三方原病院高度救命救急センターから矢野賢一先生を迎え、「石巻市立病院での病院避難支援活動～支援側からみた成果と課題～」のテーマで講演していただいた。 東日本大震災で災害派遣医療チーム（DMAT）の任務に当たられた矢野先生のお話は２つの訓練を終えたばかりの参加者にとって、更なる災害への備えの必要性を痛感させられる内容だった。講演後には多数質問が出て、関心の高さがうかがえた。

vi．参加者の反応（平成28年度の参加者83名へのアンケートより）

■ 机上シミュレーションの理解度

理解できた	48
大体理解できた	31
あまり理解できなかった	3
理解できなった	0
無記入	1

■ トリアージ訓練の理解度

理解できた	59
大体理解できた	23
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
無記入	1

■ フリーコメント

・医療人としての自覚を持ち、災害時は対応していきたいと思えるようになった。

・災害がいつ起こってもいいように心構えをしたいと思います。

・救急の現場は苦手ですが、災害時などはそんなことを言っていられないのでとても良い経験になりました。

・学生時代も災害実習をしましたが、研修医になってから参加すると違った視点で学ぶことがあると改めて思いました。

・今まで講義でしか触れてこなかったトリアージや災害時の対応を時間をかけて学び経験できて良かったです。

・想像した以上にためになった。日頃から災害時を想像してトレーニングすることが大切だと思いました。

・知っていることと出来ることは違うのだということを実感できる研修でした。

・様々なシミュレーションを準備していただき、助言してもらえたのでどのように行動したらいいのか少し分かりました。

・トリアージの流れがわかった。研修医として、自分にできることは何かを考えるよい機会になりました。

・講義や机上シミュレーションで学んだことをすぐにトリアージで実践できたので学びが深まったと思う。

・災害が自分の身近なところで発生するかもしれないという意識を持っていることが重要であると感じました。

・矢野先生のお話がとても興味深かったです。楽しく学べ、生の声まで聞くことができて満足でした。

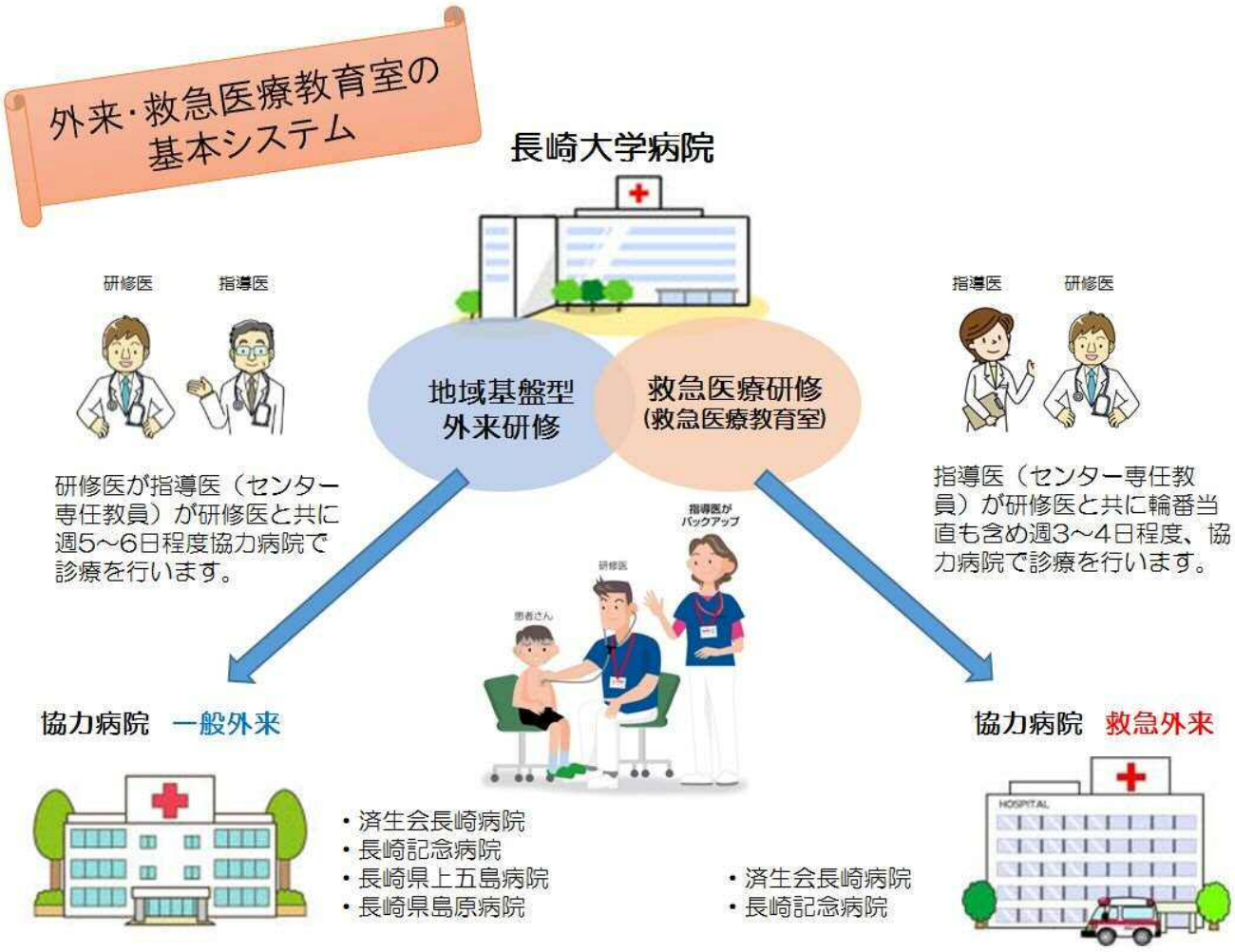
↓トリアージ実習でのフィードバックの様子

↓机上シミュレーションで人員配置を考える

↓講演会の様子

8）長崎 外来・救急医療教育室

大学病院指導医（専門医）と研修医を地域医療機関に派遣し、診療応援を兼ねてプライマリケア外来、救急外来の研修を行った。
平成28年度より「外来研修」と「救急医療教育室」が統合し「長崎 外来・救急医療教育室」として再スタートした。それにより、多くの地域医療機関でプライマリケア、初期・2次救急医療のあらゆる症例をファーストタッチすることが可能となった。

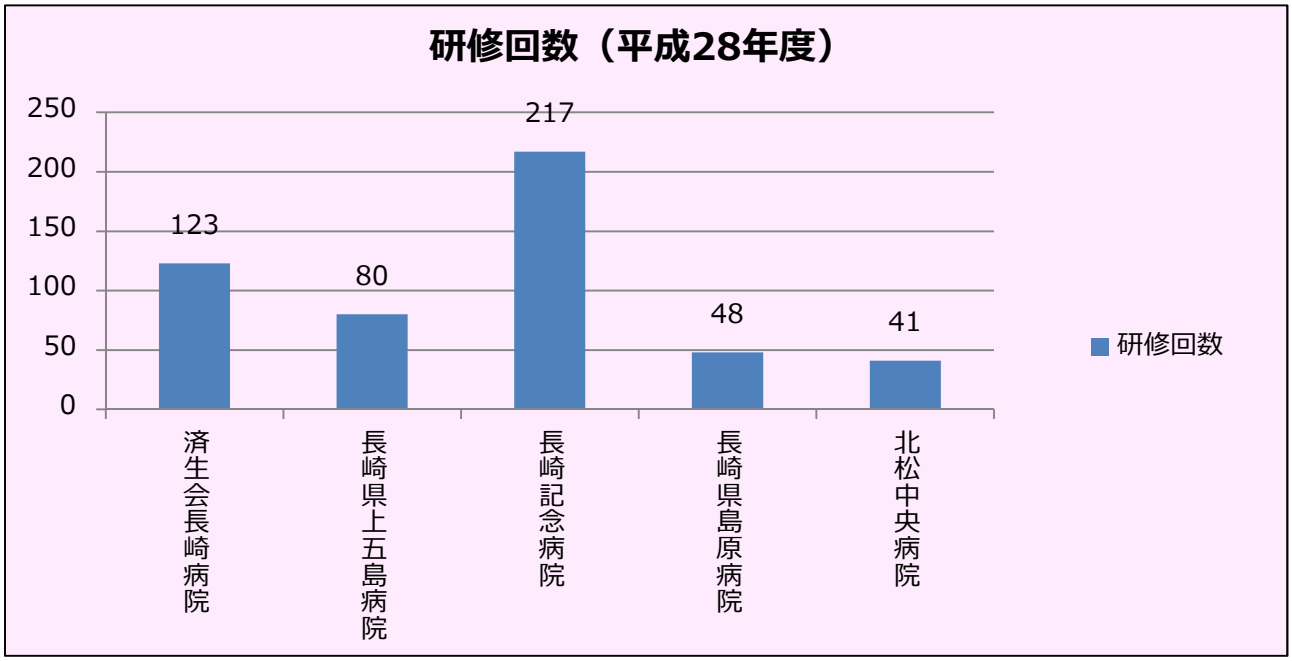


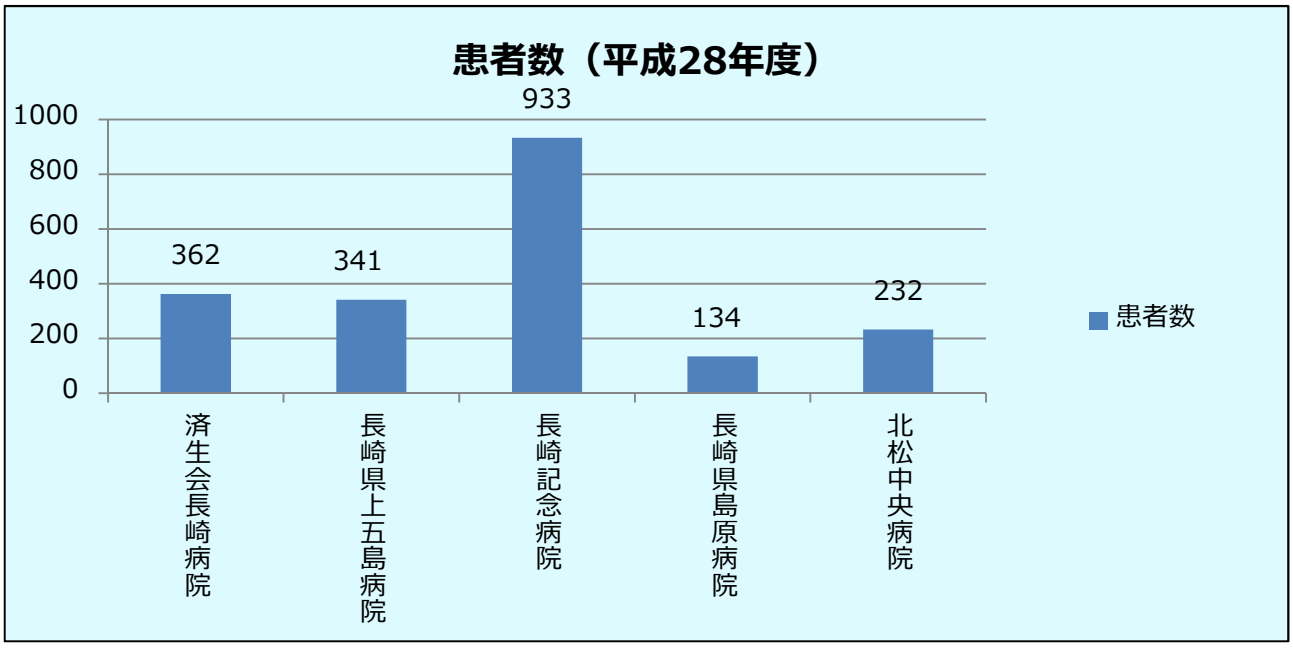
■研修協力病院及び指導医一覧（平成28年度）

研修協力病院	指導医
長崎記念病院	濵田 久之
	長谷 敦子
	松島 加代子
	池田 喬哉
長崎県上五島病院	古賀 智裕
	梅田 雅孝
	渡邊 毅

研修協力病院	指導医
長崎県島原病院	柴田 英貴
北松中央病院	小畑 陽子
済生会長崎病院	濵田 久之
	長谷 敦子
	髙山 隼人
	山下 和範

■長崎 外来・救急医療教育室 研修回数および患者数





■研修医の感想

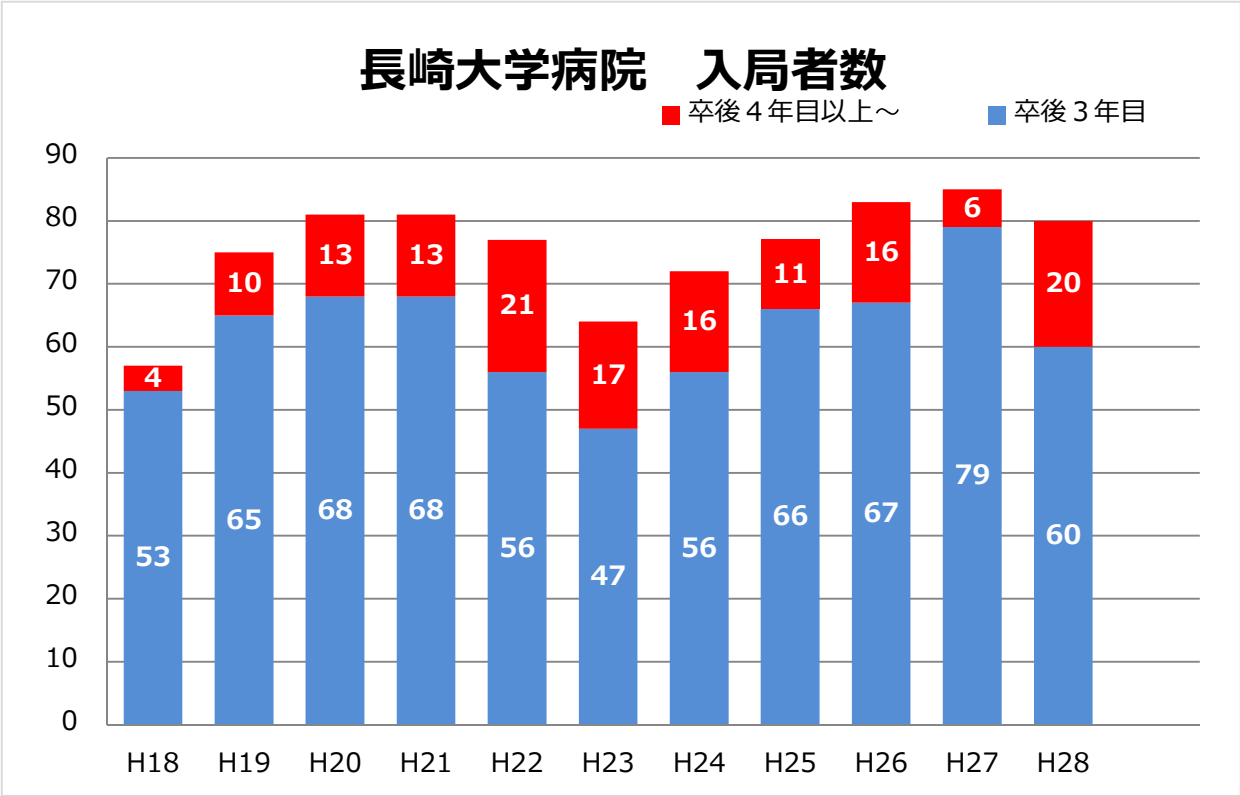
研修後のアンケートでの研修医によるコメント（抜粋）

- ✓ 指導医は医学的知識だけではなく、患者や医療スタッフとの関わり方も教えてくれた。
- ✓ マンツーマンの指導で、丁寧なフィードバックがある点が良かった。
- ✓ 鑑別をあげることの大切さを学んだ。
- ✓ 色々な職種の人とのコミュニケーションを実践できた。
- ✓ 主訴からどういった鑑別を考え、検査をたてていくべきかということを学んだ。
- ✓ 市中病院での救急実習。ファーストタッチを数多く行うことができた。
- ✓ インフルエンザの診療など２年目で多く診そうな症例を先生の指導の下で経験できた。
- ✓ 腰椎麻酔、全身麻酔を体験できた。
- ✓ 紙カルテへの記載方法、外来での時間配分を学んだ。
- ✓ 移動時間が長すぎる。

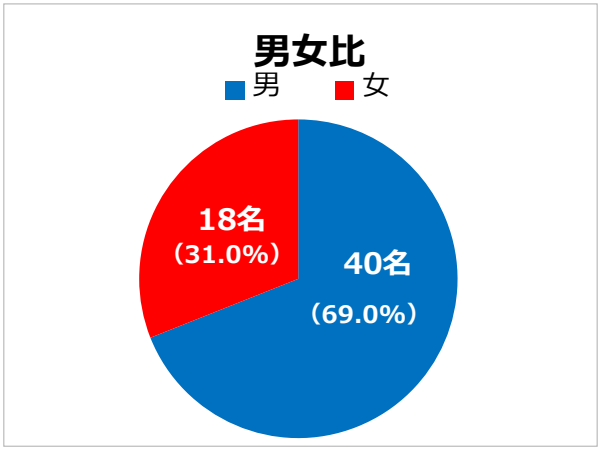
（３）医科 後期研修医のために

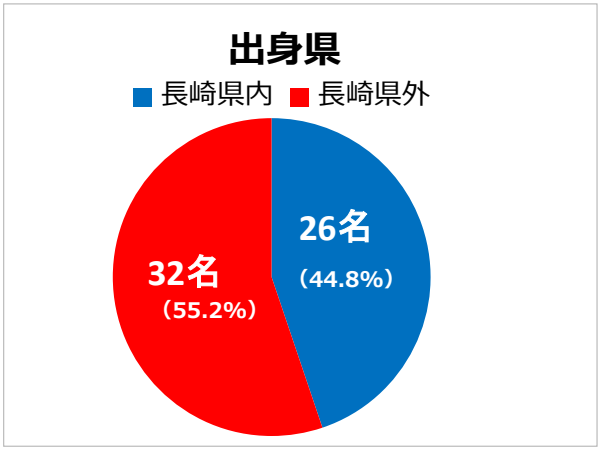
（専門医の育成を行っています）

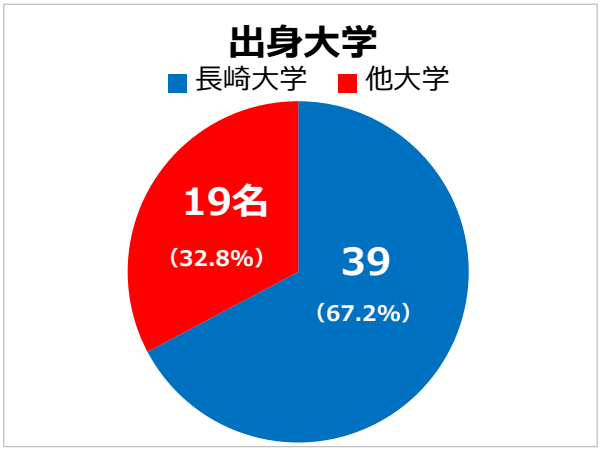
１）入局者推移

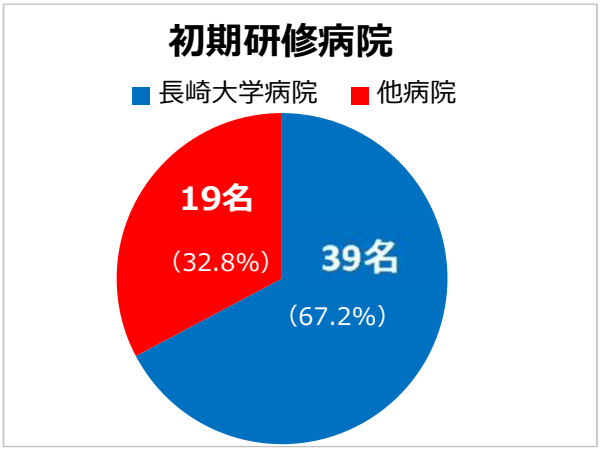


■平成２8年度　卒後３年の入局者の比率









2）コース別登録者数の推移

	コース名	21年度登録数	22年度登録数	23年度登録数	24年度登録数	25年度登録数	26年度登録数	27年度登録数	28年度登録数
1	認定内科医養成コース	70	76	75	75	84	95	126	133
2	膠原病リウマチ専門医養成コース	2	2	1	2	5	5	2	2
3	内分泌代謝科専門医養成コース	3	7	8	6	7	8	8	12
4	神経内科専門医養成コース	2	2	6	6	7	7	3	6
5	肝臓内科専門医養成コース	3	4	4	2	2	2	2	2
6	消化器専門医・消化器内視鏡専門医養成コース	6	8	11	17	17	18	14	19
7	気管支喘息・呼吸器アレルギー専門医養成コース	1	1	0	1	1	1	1	1
8	腎臓専門医・透析専門医養成コース	3	4	4	8	9	11	11	12
9	呼吸器専門医・呼吸器内視鏡専門医養成コース	8	9	18	19	25	21	18	19
10	感染症専門医養成コース	3	8	7	6	5	7	6	5
11	総合内科専門医養成コース	7	11	13	11	11	16	13	13
12	循環器専門医養成コース	3	4	6	8	10	10	2	3
13	老年病専門医養成コース	0	0	0	1	1	1	1	1
14	総合医養成コース	0	2	1	3	3	2	2	2
15	血液内科専門医養成コース	2	2	2	3	5	5	3	4
16	国際医療、感染症専門医養成コース	1	4	6	8	9	10	10	9
17	外科専門医養成コース	41	48	47	44	43	42	48	48
18	移植内科専門医養成コース	0	0	0	0	0	0	0	0
19	移植外科専門医養成コース	0	0	0	0	0	0	0	0
20	肝胆膵外科専門医養成コース	0	0	0	1	1	1	1	1
21	小児外科専門医養成コース	0	3	3	4	4	4	3	3
22	消化器外科専門医養成コース	2	8	9	14	23	27	30	29
23	乳腺外科専門医養成コース	2	1	3	2	3	2	5	7
24	外科専門医・心臓血管外科専門医養成コース	9	7	7	5	7	9	10	10
25	小児科専門医養成コース	6	10	16	17	19	22	27	29
26	放射線科専門医養成コース	7	10	11	10	12	12	14	17
27	産婦人科専門医養成コース	13	14	11	12	10	9	9	5
28	認定医・標榜医コース	15	16	15	10	8	8	13	14
29	麻酔科専門医養成コース	4	9	12	15	19	11	8	9
30	集中治療専門医養成コース	1	3	4	5	6	4	4	3
31	日本ペインクリニック学会認定医養成コース	0	1	1	1	1	0	0	0
32	救急科認定医養成コース	1	2	2	3	2	2	2	2
33	精神保健指定医・精神科専門医養成コース	8	8	7	11	13	13	15	14
34	整形外科専門医養成コース	26	25	24	24	26	22	19	23
35	日整会認定リウマチ医養成コース	0	1	1	1	0	0	0	0
36	日整会認定脊椎脊髄医養成コース	0	1	1	1	0	0	0	0
37	脊椎脊髄内視鏡認定医養成コース	0	0	0	0	0	0	0	0
38	皮膚科専門医養成コース	20	20	19	12	15	16	18	19
39	泌尿器科専門医養成コース	2	1	0	1	1	3	6	9
40	眼科専門医養成コース	8	13	13	13	8	11	15	14
41	耳鼻咽喉科専門医養成コース	5	6	5	7	7	7	9	9
42	脳神経外科専門医養成コース	7	7	6	5	4	6	6	7
43	形成外科専門医養成コース	22	19	19	15	17	18	21	26
44	こどもの心の診療医養成コース	0	1	1	1	1	1	1	1
45	生活習慣病専門医コース	0	0	0	2	2	2	1	1
46	母胎・胎児専門医養成コース	1	2	3	4	4	4	4	3
47	生殖医療専門医（指導医）養成コース	3	3	4	4	4	3	3	3
48	婦人科腫瘍専門医養成コース	5	4	3	2	1	1	1	1
49	産婦人科内視鏡学会技術認定医養成コース	5	3	4	6	6	6	6	5
50	超音波専門医養成コース	7	7	7	8	7	8	9	9
51	臨床遺伝専門医養成コース	0	0	0	1	1	2	2	2
52	呼吸器外科専門医養成コース	0	2	3	5	7	7	6	6
53	内視鏡外科専門医養成コース	0	1	2	2	3	2	2	2
54	大腸肛門病専門医養成コース	0	0	0	0	0	0	0	0
55	がん薬物療法専門医養成コース	3	4	4	7	4	2	3	3
56	地域総合医養成コース	0	0	0	1	1	0	0	0
57	基礎研究者養成コース	1	2	2	2	2	1	1	1
58	臨床検査専門医養成コース	-	-	0	0	0	0	1	1
59	輸血・細胞治療専門医養成コース	-	-	0	0	0	0	0	0
60	病理専門医養成コース	-	-	3	2	3	3	3	3
	未定	-	-	-	2	1	1	0	0
合計		338	406	434	458	497	511	548	582

3）コース登録者の認定医・専門医取得状況

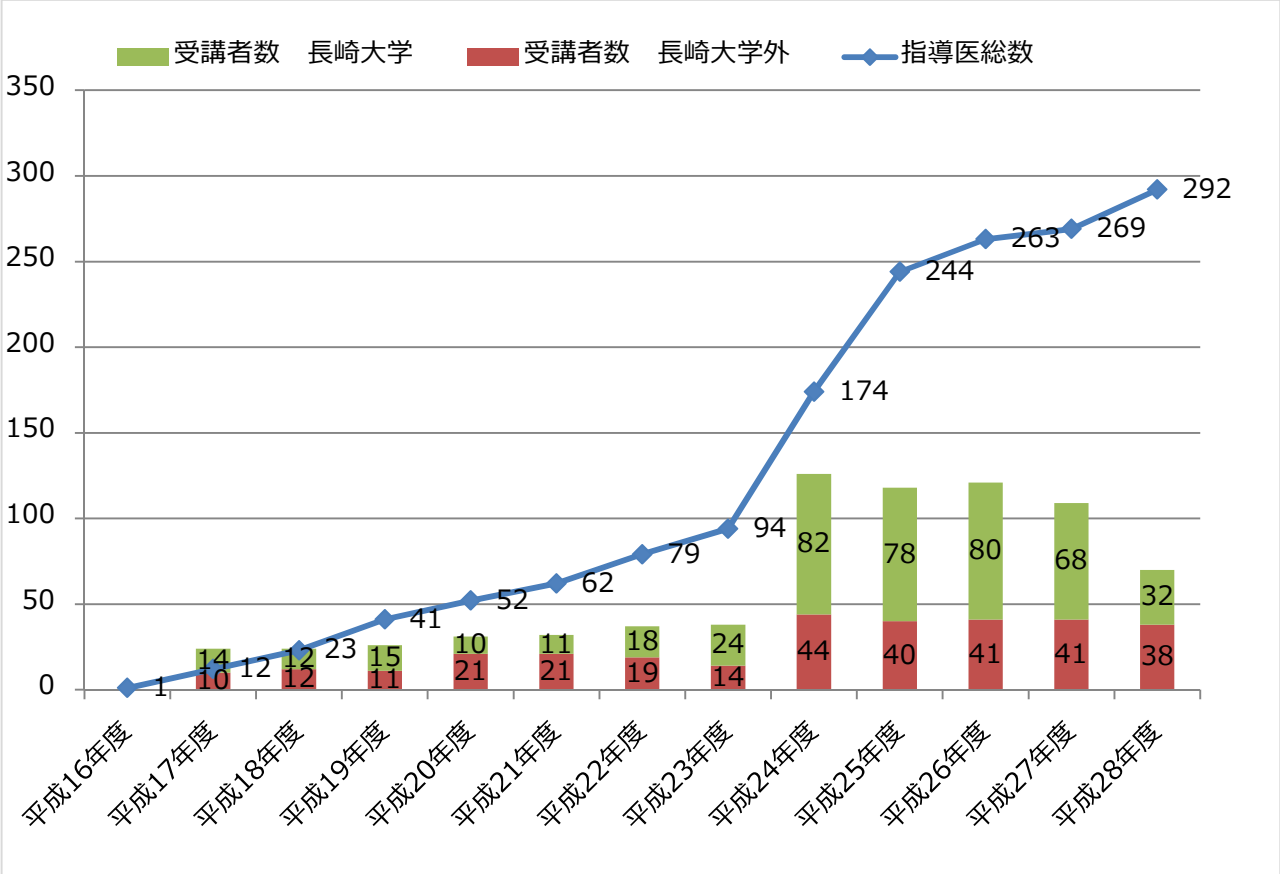
専門医名	合格者数								計
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
認定内科医	20	23	20	22	16	13	15	36	165
リウマチ専門医	1	1		1	1	4	1		9
内分泌代謝専門医	1		1	1			1		4
糖尿病学会専門医	1	2	2	1	1	3	1	1	12
神経内科専門医				2	1	4		2	9
脳卒中専門医			2				2		4
肝臓専門医	2	2	5		1		1	4	15
消化器病専門医	4	3	3	1	3	7		5	26
消化器内視鏡専門医		3	2	3	1	3		2	14
アレルギー専門医	1	1						1	3
腎臓専門医	1		1	1	2		5	1	11
透析専門医	1	1			1	1	2	1	7
呼吸器専門医	7	2	1	1	6	6	2	2	27
気管支鏡専門医	1		3		1			2	7
感染症専門医		2		1	2	2	1	1	9
ICD		1	1	1	1				4
救急科専門医				2	2				4
総合内科専門医	4	1	5	1	2	5	6	4	28
循環器専門医	1	1	1		1	6	1		11
家庭医療専門医		1						1	2
血液専門医				2	1	2		2	7
外科専門医	13	8	12	12	8	6	6	7	72
消化器外科専門医	1	2	1	5			4	2	15
日本乳癌学会認定医		1							1
乳腺専門医			1		1				2
心臓血管外科専門医	2	1	1				2		6
小児科専門医			2	2	3		5	5	17
放射線科認定医	2	1	1						4
放射線科診断専門医		2	2	1	1			3	9
放射線科治療専門医				1					1
放射線科専門医							1		1
核医学専門医		1	2						3
産婦人科専門医	2	3	4	3	1	2	4		19
日本産婦人科腫瘍学会専門医				1					1
婦人科内視鏡学会技術認定医				1			1		2
母体・胎児専門医							1		1
超音波専門医				1				1	2
麻酔科認定医	4	5	5	3	3		3		23
麻酔科専門医	1	2	2		5	3	2	5	20
精神科専門医	1	1	1	2			2	1	8
整形外科専門医	6	3	3	4	2	6	2	3	29
日整会認定脊椎脊髄医		1							1
日整会認定リウマチ医				1					1
皮膚科専門医	1	2	5	1	1	1	1	1	13
泌尿器科専門医		1						1	2
眼科専門医	2	1	1	5		1	3	1	14
耳鼻咽喉科専門医		1	1		2	2		2	8
脳神経外科専門医		3	1	2	1			1	8
形成外科専門医	6	4	4	1				2	17
呼吸器外科専門医			1		2	1			4
小児外科専門医						1		2	3
消化器がん外科治療認定医				1					1
日本移植学会移植認定医				3	1				4
血漿交換療法専門医				1					1
抗菌化学療法認定医				1					1
がん薬物療法専門医	1	1						1	3
がん治療認定医	3	6	5	4		1		7	26
細胞診専門医			1						1
臨床検査専門医				1					1
臨床遺伝専門医				1					1
ＩＶＲ専門医					1				1
集中治療専門医					1		1		2
ペインクリニック専門医					1				1
内視鏡外科学会技術認定医					1			2	3
胃腸科認定医					1				1
女性ヘルスケア専門医					1				1
プライマリケア認定医					1				1
合計	90	94	103	98	81	80	76	112	734

（４）医科 指導医のために

（指導医の育成を行っています）

１）指導医講習会

平成２８年度に「長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会」を開催した。本講習会は、長崎県医師臨床研修協議会（新・鳴滝塾）主催、長崎大学病院医療教育開発センターを共催とし、厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」（平成１６年３月１８日付け医政発第０３１８００８号）にのっとった内容で企画されている。平成２４年度より年３回の開催であったが、平成２８年度より年２回の講習とし、本年度研修修了者合計は７０名である。



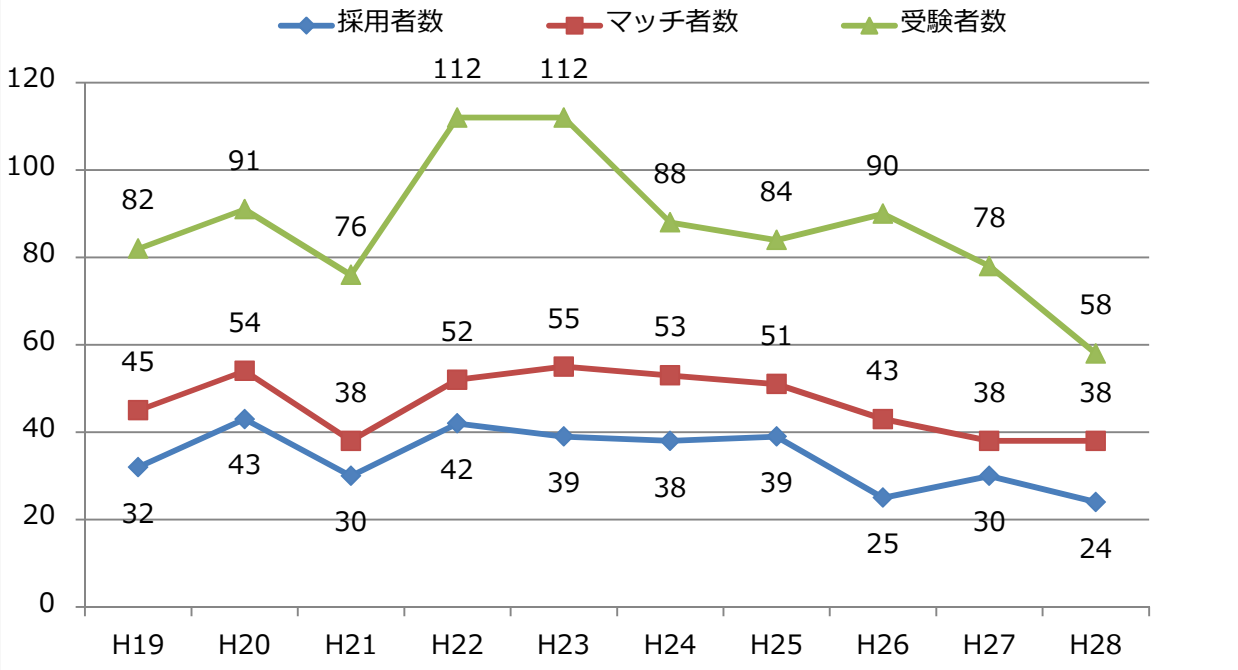
※指導医数は年度末現在 長崎大学所属かつ臨床経験7年以上

（５）歯科 初期臨床研修のために

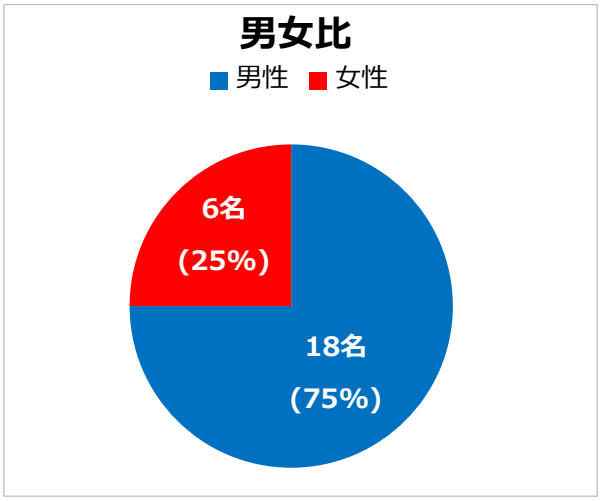
（研修プログラムなどの整備を行っています）

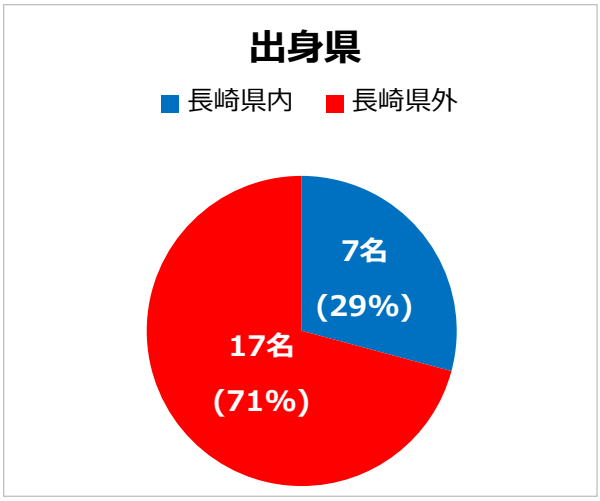
１）研修医数推移

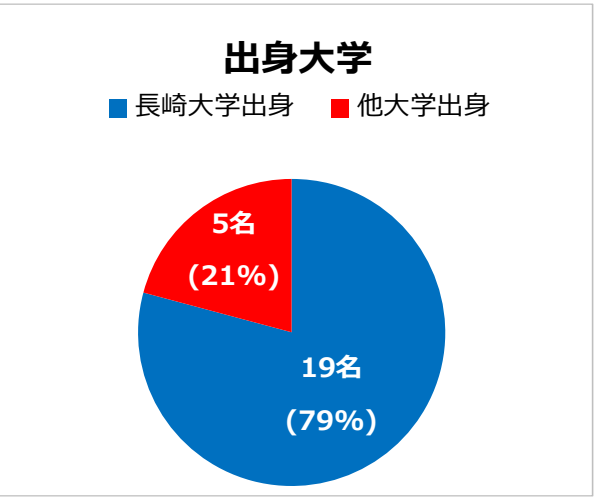
■受験者数、マッチ者数、採用者数の推移



■平成２8年度実績







2）研修プログラム

平成２8年度プログラム研修スケジュール

■研修プログラムＡ（単独型臨床研修コース）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保存･補綴 基礎研修		大学病院での研修 ･臨床研修室での診療　･予診業務 ･ローテート研修（病床研修含む）　･講義									

■研修プログラムＢ（複合型臨床研修コース）

Ｂ１コース（管理型臨床研修コース５カ月型）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保存･補綴 基礎研修		大学病院での研修 ･臨床研修室での診療　･予診業務 ･ローテート研修 (病床研修含む)･講義					協力型研修施設での研修（５ヵ月）				

Ｂ２コース（管理型臨床研修コース５カ月型）

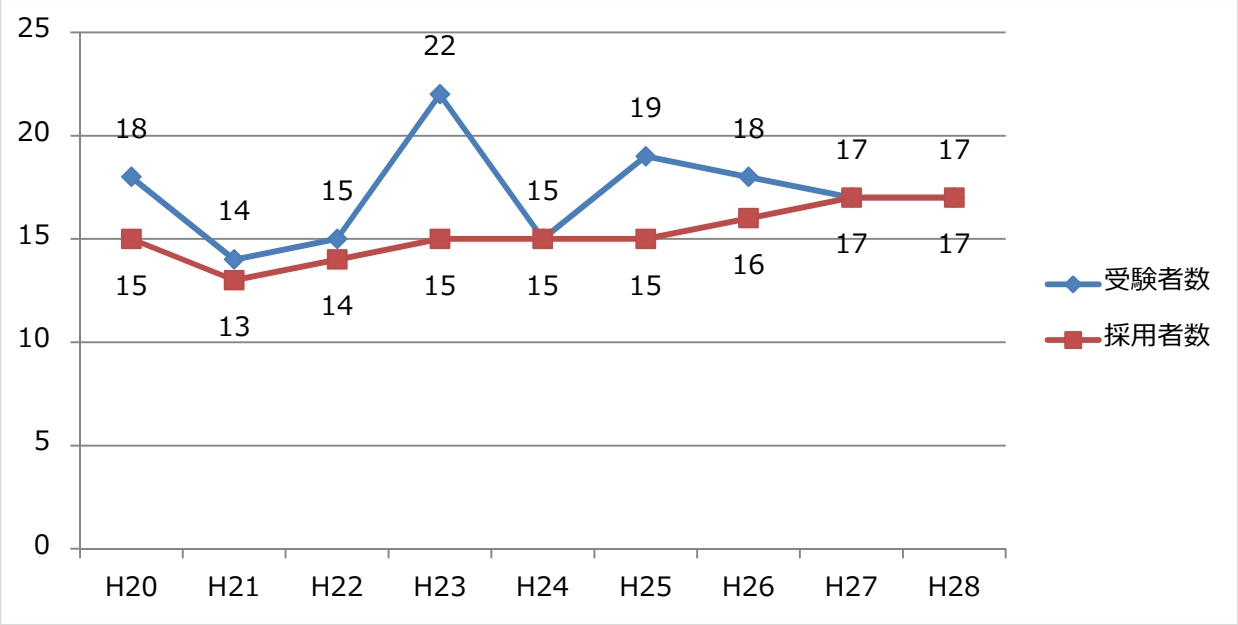
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保存･補綴 基礎研修		協力型研修施設での研修（５ヵ月）					大学病院での研修 ･臨床研修室での診療　･予診業務 ･ローテート研修 (病床研修含む)･講義				

（６）歯科 後期臨床研修のために

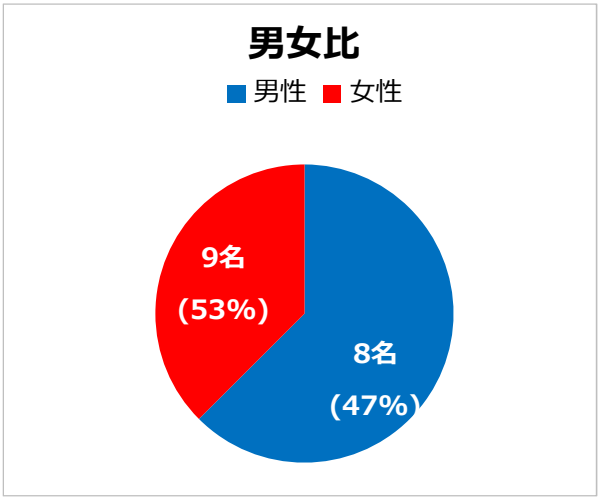
（学習プログラムなどの整備を行っています）

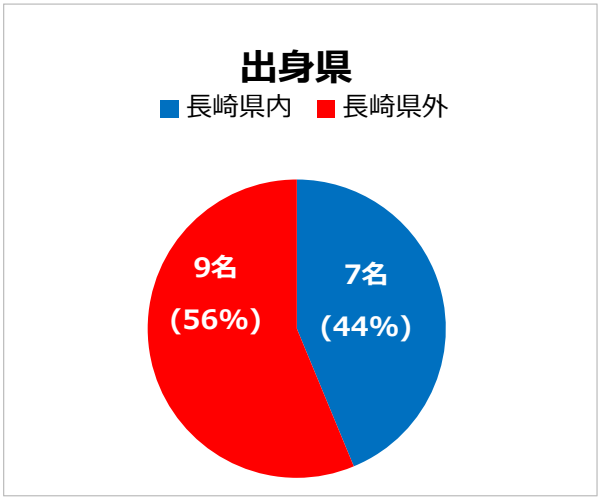
１）研修医数推移

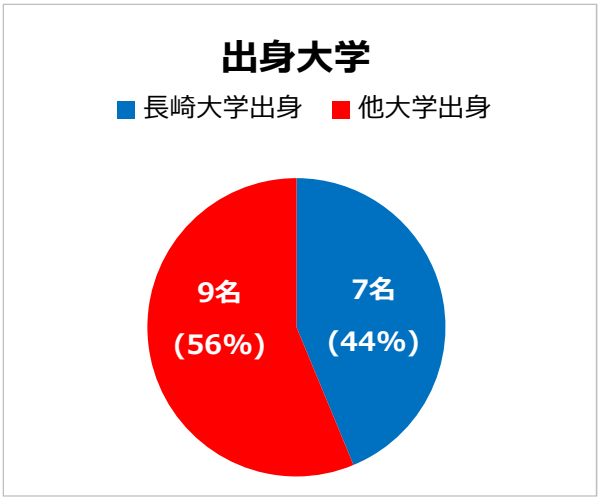
■受験者数、採用者数の推移



■平成２8年度実績







（７）看護師のために
（新人の育成などを行っています）

１）合同研修（オリエンテーション）

平成２８年４月１日（金）に医師・看護師を対象に合同研修（オリエンテーション）を行いました。合同研修では、『チーム医療』をテーマに医師・看護師混合チームでチームワークを高めるために互いの自己紹介から実際にプレゼンテーションを行うまでを実践しました。

WS作業風景

プレゼンテーションの様子

（８）薬剤師のために
（中堅の育成を行っています）

１）フィジカルアセスメント

個々の患者に最適な薬物療法を進める中で、患者の状況を正確に把握し、医薬品による副作用の防止、早期発見のために、フィジカルアセスメントを修得した薬剤師を育成することを目的に、各専門分野の医師・技師による実技と講義を行った。

日にち	テーマ	学習方法	担当科
5/10(火)	開催式及び趣旨説明会	講習会の説明・聴診器展示会	
6/14(火)	フィジカルアセスメントの基本1 ～生活習慣病治療薬等の副作用早期発見のために～	講義・シミュレーターを用いて実技	医療教育開発センター
6/28(火)	フィジカルアセスメントの基本2 ～生活習慣病治療薬等の副作用早期発見のために～	同上	医療教育開発センター
7/12(火)	フィジカルアセスメントの基本3 ～生活習慣病治療薬等の副作用早期発見のために～	同上	医療教育開発センター
8/16(火)	検査値異常からの副作用の見方、腹部診察	同上	消化器内科
9/6(火)	皮膚科の副作用の見方	講義（症状の画像スライド含む） 皮内反応テストの実技	皮膚科
10/4(火)	循環器系の副作用の見方	講義（心電図、X線写真、心音含む） シミュレーターを用いての聴診	循環器内科
11/15(火)	精神・神経系の副作用の見方	講義＋実習 症状の動画スライド・Q&A形式の内容を含む）	神経内科
12/13(火)	呼吸器系の副作用の見方 （薬剤性肺障害の発見方法）	講義（X線写真の見方を含む） シミュレーターを用いての聴診 （薬剤性肺障害特有の呼吸音の聴取）	呼吸器内科
1/17(火)	ベッドサイドにある医療機器の見方 (ﾓﾆﾀｰ、輸液、ｼﾘﾝｼﾞﾎﾟﾝﾌﾟ、人工呼吸器、ﾈﾌﾞﾗｲｻﾞｰ等)	実物の機器を見てその解説を受けながら体験	MEセンター
2/7(火)	口腔・嚥下系の副作用と嚥下レベルに合わせた 服用形態について	講義(症状の動画スライドを含む)　＋実習	歯科 特殊歯科総合治療部)
3/7(火)	修了式	講習会の総評・修了書授与	

■ 過去の実績

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加者数	22	23	25	24	24	22	22

2）フィジカルアセスメントショートコース

平成２８年７月３日（日）に第６回を実施し、を長崎大学病院シミュレーションセンターを会場とし開催した。午後からの講義を第６回は、疼痛緩和を題材とし、第７回は、在宅医療を題材として講義実習を行った

■第６回プログラム

	２４名
10：05	開会挨拶
10：10 ～ 12：00	ベーシック フィジカルアセスメント
	10分休憩
12：10 ～ 12：50	（ランチョンセミナー）薬剤師ならココをみよう！ 鎮痛剤の副作用と患者面談（服薬指導）時のポイント
	10分休憩
13：00 ～ 13：50	薬剤師のためのがんの痛みアセスメントと治療
	10分休憩
14：00 ～ 16：00	オピオイドの効果確認と副作用対策（実施編） ～フィジカルアセスメントとの対応・薬物治療～
16:00	終了書授与式 アンケート記入
16:15	閉会

ランチョン
長崎大学病院の緩和ケアセンターから薬剤師の先生に講演をして頂いた。

テーマ：疼痛緩和薬剤
第６回の午後からの議題は、
「オピオイドの効果確認と副作用対策（実施編）
～フィジカルアセスメントとの対応・薬物治療～」だった。

セミナーの様子

2）フィジカルアセスメントショートコース

■第７回プログラム

10：05	開会挨拶		
10：10 ～ 12：00	**ベーシック フィジカルアセスメント**		
	10分休憩		
12：10 ～ 12：50	（ランチョンセミナー） 開局薬剤師による在宅医療への取り組み ～1人でも多くの「笑顔」を願って～		
	10分休憩		
13：00 ～ 13：20	**在宅医療を行う際の注意点**		
午後の部	浜田先生		
担当	池田喬哉 先生	田下博 看護師	久松徳子 先生
学生	学生2名	学生2名	0名
プログラム	誤嚥性肺炎の 見つけ方と実習	訪問時の注意点 と実習	誤嚥の見極め方 と実習
13：20 ～ 14：05	グループA	グループB	グループC
	5分休憩		
14：10 ～ 14：55	グループC	グループA	グループB
	5分休憩		
15：00 ～ 15：45	グループB	グループC	グループA
15：45 ～ 16：00	終了書授与式 アンケート記入		
16:00	閉会		

テーマ：在宅医療における
第６回の午後からの議題は、在宅医療における注意点等を3グループに分かれて実習した。

セミナーの様子

■ 実績

	第1回 (H25.12.1)	第2回 (H26.6.8)	第3回 (H26.10.19)	第4回 (H27.6.21)	第5回 (H27.12.20)	第6回 (H28.7.3)	第7回 (H28.12.4)	第8回 (H29.7.30)
参加人数	20	24	22	23	24	24	16	24

（９）採用者オリエンテーション

１）新規採用者オリエンテーション

平成２８年４月１日（金）に記念講堂にて全業種新規採用者を対象にしたオリエンテーションを開催した。

■オリエンテーションスケジュール

時　刻			内　容	
8:00から			受付開始	（看護師・研修医等新規免許取得者を含む）
8:30まで			集合時間	（同上）
8:45	～	8:55	病院長挨拶 宣誓書朗読 医　師（医科研修医１年次） 看護師	
8:55	～	8:56	教育・研究・国際担当副病院長、看護部長、医療技術部長紹介	（同上）
8:56	～	9:05	病院の組織と身分	総務課（人事）　岩永　達也　主査
9:05	～	9:35	メンタルヘルス セルフケアについて	こころとからだの健康相談室　福原　禎美　先生
9:35	～	9:45	休憩・移動	
9:45	～	9:50	就業労働制について	総務課（職員）　池上　裕　主査
9:50	～	10:20	情報セキュリティについて	医療情報部　松本　武浩　先生
10:20	～	10:40	医薬品の取り扱いについて	薬剤部　室　高広　副薬剤部長
10:40	～	10:55	医療機器の取り扱いについて	ME機器センター　林　誠　副センター長
10:55	～	11:20	感染症対策について	感染制御教育センター　田代　将人　先生
11:20	～	11:30	教育制度について	医療教育開発センター　浦田　久之　センター長
11:30	～	11:55	安全管理について	安全管理部　栗原　慎太郎　先生

２）中途採用者オリエンテーション

毎月初日に医療法第６条の１０に基づき、安全管理、印何感染対策等に関して研修会を行っている。また、医師を対象にした電子カルテ基本操作研修を同日午後から行っている。

■職種別・月別採用者数　（平成２8年度実績）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師（常勤）	1	6	3	0	0	1	1	1	1	0	0	14
医師（非常勤）	3	6	1	1	3	8	1	1	1	3	0	28
看護師	4	2	5	3	2	9	3	1	1	2	2	34
看護助手	6	3	2	0	0	1	0	1	3	1	2	19
コメディカル	4	1	6	3	1	6	3	2	2	1	1	30
事務	6	6	19	1	3	7	3	3	6	4	1	59
計	24	24	36	8	9	32	11	9	14	11	6	184

■研修内容

・個人情報の取扱いについて　（総務課　主査（総務）　田川智子　氏）　4分
・安全管理について※　（安全管理部　講師　栗原慎太郎　氏）　20分
・病院内感染対策2014※　（感染制御教育センター　助教　田代将人　氏）25分
・臓器移植について　（長崎県臓器移植コーディネーター　竹田昭子　氏）15分
・セルフケアについて　（こころの健康相談室　臨床心理士　福原視美　氏）　30分
・裁量労働制について　（総務課　主査（職員）　池上　裕　氏）　5分

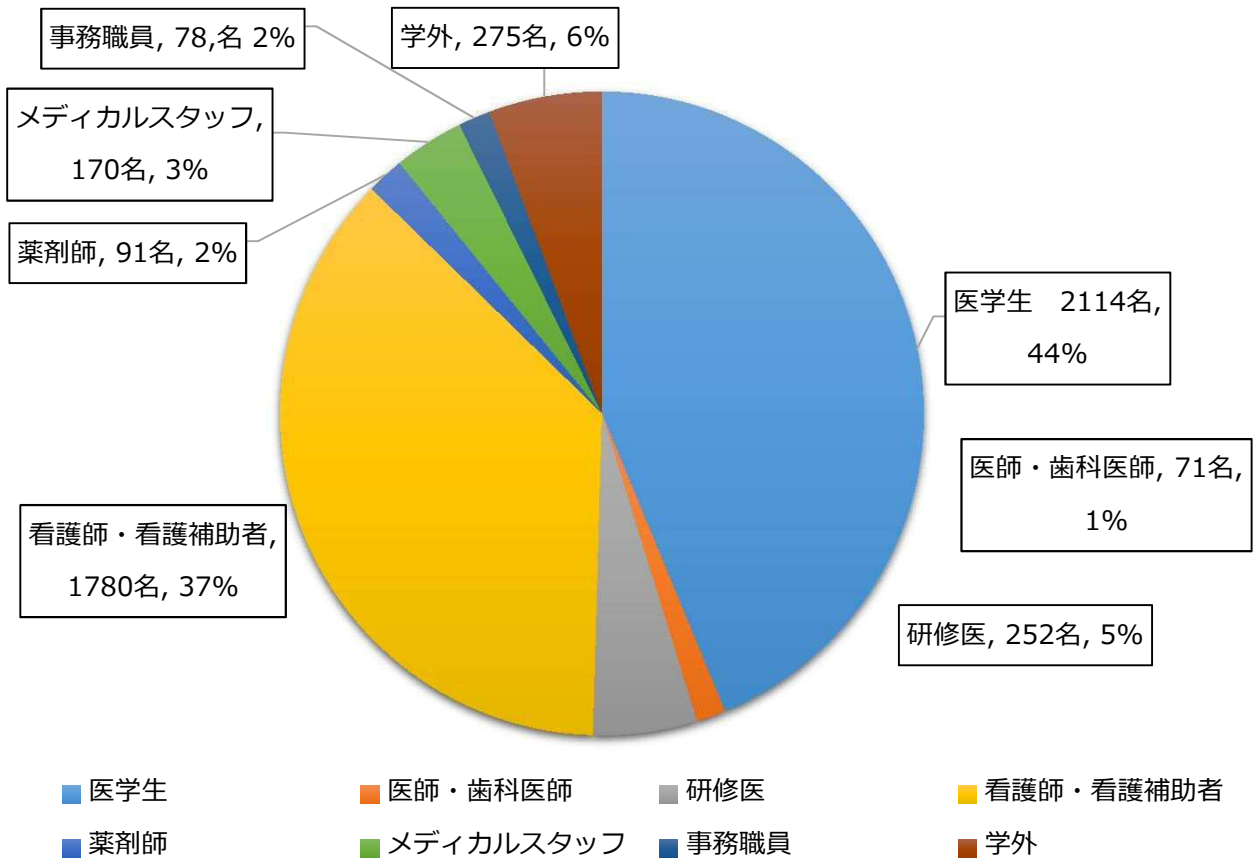
（１０）シミュレーションセンター

１）利用者数・職種別利用者数

①平成２８年度シミュレーションセンター利用者一覧表

平成28年度	医学生	看護学生	医師	医科研修医	歯科医師	歯科研修医	看護師	看護補助	薬剤師	リハビリ	臨床検査技師	放射線技師	臨床工学技師	歯科	栄養士	事務職員	学外	合計	組数
４月	165	0	0	16	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	193	46
５月	173	0	2	37	0	0	26	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	274	52
６月	221	0	8	67	6	0	201	0	10	3	13	0	6	1	0	1	18	555	67
７月	177	0	0	0	0	0	338	0	15	2	13	0	9	0	0	0	22	576	81
８月	10	0	7	17	1	0	110	0	1	3	3	0	17	0	0	0	53	222	24
９月	116	0	0	8	0	0	117	0	8	0	0	0	1	0	0	18	14	282	47
１０月	325	0	13	8	0	0	204	0	8	0	0	0	11	0	0	15	18	602	79
１１月	343	0	7	23	0	0	278	0	8	0	0	0	0	1	0	17	59	736	73
１２月	156	0	0	9	0	0	127	12	13	0	0	0	0	0	0	16	45	378	48
１月	145	0	8	8	0	0	140	0	9	0	1	0	1	3	0	11	11	337	46
２月	237	0	22	67	3	0	175	0	26	2	4	8	3	23	0	7	26	603	68
３月	52	0	5	0	0	0	77	0	11	2	6	0	1	5	0	0	42	201	33
合計	2120	0	72	260	10	0	1805	12	109	12	40	44	49	33	0	85	308	4959	664

②平成２８年度シミュレーションセンター利用者割合



2）教育プログラム

シミュレーションセンター専任看護師と救命救急センター医師による、シミュレーション実習を対象者別に随時行っている講習会。

プログラムコース	対象者	期　間	開催回数	参加人数	延べ人数
救急医学会認定 ICLSコース	研修医	H28.4～H29.3	4	58	103
JMECCコース	県内職員	H28.10	1	10	
JPTECコース	院内職員	H29.2.6・8	2	13	13
急変対応シミュレーションコース	看護師	H28.7～10	5	7	45
シミュレータ指導者育成コース	看護師	H26.6～12	7	13	34
ショック対応 シミュレーションコース	研修医	H26.9～H27.1	6	18	30
心音トレーニング	院内職員	随時	5	15	
呼吸音トレーニング	院内職員	随時	7	25	
心電図トレーニング	院内職員	随時	1	5	
吸引トレーニング	院内職員	随時	5	12	
気管挿管介助	院内職員	随時	6	12	

＜一般職員のためのＢＬＳ講習＞

本院で勤務する院内職員(技術職員・事務職員)を対象とした2年に1度受講する頻度で実施している。BLS講習会を毎週木曜日開催。計１５０名が参加した。

	参加人数
平成22年	243名
平成23年	85名
平成24年	153名
平成25年	164名
平成26年	223名
平成27年	216名
平成28年	150名

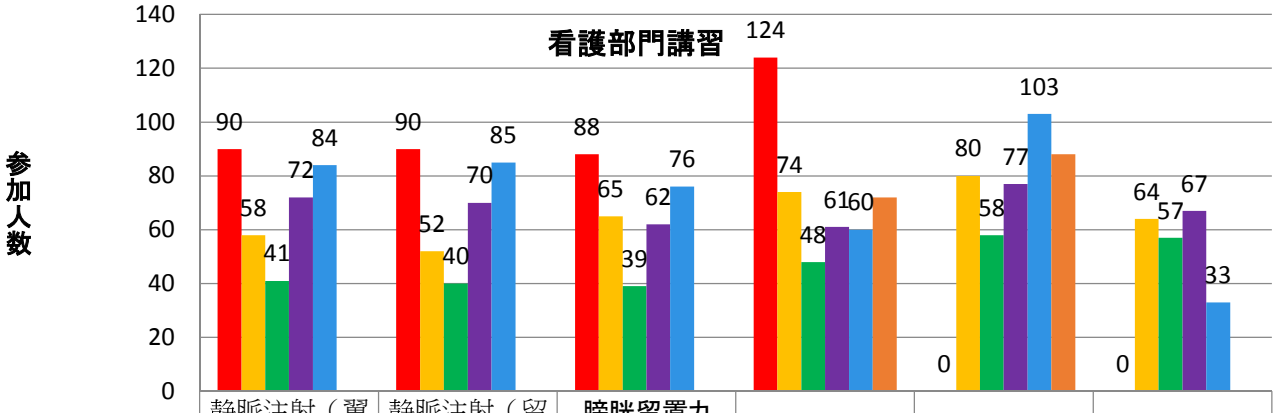
＜ＢＬＳ講習＞

その他、各部署・部門での開催

	開催回数	参加人数
院内職員	30	150
放射線部	3	46
看護部	40	561
ボランティア室	1	11
薬剤部	6	27

＜ショック対応シミュレーションコース＞

平成２６年度から開催、ショック状態の患者に対応するためのシミュレーションコース。今年度も２日間の講義・実習を１コースとし８名の研修医を対象に開催した。初期研修医累計18名がこのコースに参加した。



	静脈注射（翼状針）演習	静脈注射（留置針）演習	膀胱留置カテーテル演習	挿管介助演習	BLS研修	ACLS研修
平成23年度	90	90	88	124	0	0
平成24年度	58	52	65	74	80	64
平成25年度	41	40	39	48	58	57
平成26年度	72	70	62	61	77	67
平成27年度	84	85	76	60	103	33
平成28年度	0	0	0	72	88	0
合計	345	337	330	439	406	221

＜ＢＬＳ研修＞

心肺蘇生法の基本を理解し、看護師としての役割を果たせるようになるために実施した。

＜挿管介助演習＞

気管挿管に関する解剖学的知識を得、演習を通して準備・介助の方法を学ぶ。今年度７回実施した。

3）新しく購入した物品

商品名	個数
AEDトレーナー（日本光電）	5
BLSシミュレータ（小児4体セット）	1
BLSシミュレータ（乳児4体セット）	1
ALSベビー 200セット	1
ディフィカルトエアウェイ	1
超音波診断ファントム　腹部モデルECHOZY	1

＜AEDトレーナー（日本光電）＞

以前から使用しているPHILIPS製が廃版になり、院内のAEDが日本光電になるのに伴い、購入した。

＜BLSシミュレータ（乳児・小児＞

BLSシミュレータは成人は多くあるが、乳児・小児は1体づつしかなかった。
より多くの方に利用して頂くために、購入した。

＜ディフィカルトエアウェイ＞

挿管用・気管切開・気胸が出来るシミュレータ。
挿管用シミュレータの故障が多くなり、4体中3体は口が裂け、歯が欠けているため購入した。

＜ALSベビー200＞

PALS（Pediatric Advanced Life Support）に必要な気道確保、CPR、骨髄輸液、ECGモニタリングに関連するスキルのトレーニングが可能となることでリスク低減に役立てるシミュレーション実習で使用するため購入した。

＜腹部モデルECHOZY＞

正常モデルで、腹部シミュレーションで使用するため購入した。

（１１）その他・地域貢献

１）キッズセミナー

平成２８年８月８月（月）に「第８回キッズセミナー」を長崎大学医学部を会場とし開催した。このセミナーは長崎県の未来の医療人を育てるため、長崎大学附属小学校の５～６年生を対象に行った。

集合写真（参加者＆スタッフ）

センター長挨拶

心臓と肺の音を聞いてみよう！
気管支鏡を体験しよう！

ケガの処置をしよう！

AEDを使った救命処置を
体験しよう！

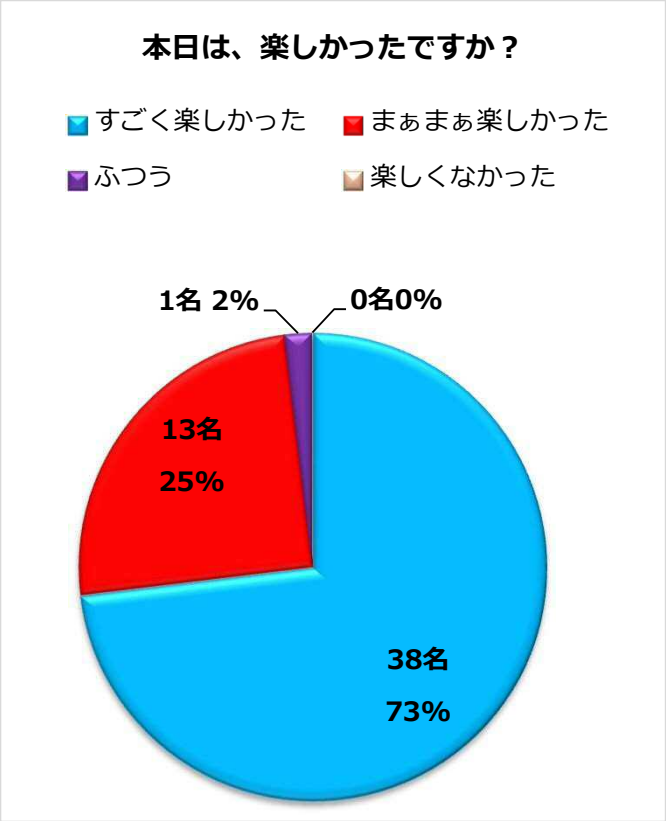
手術の体験をしてみよう！

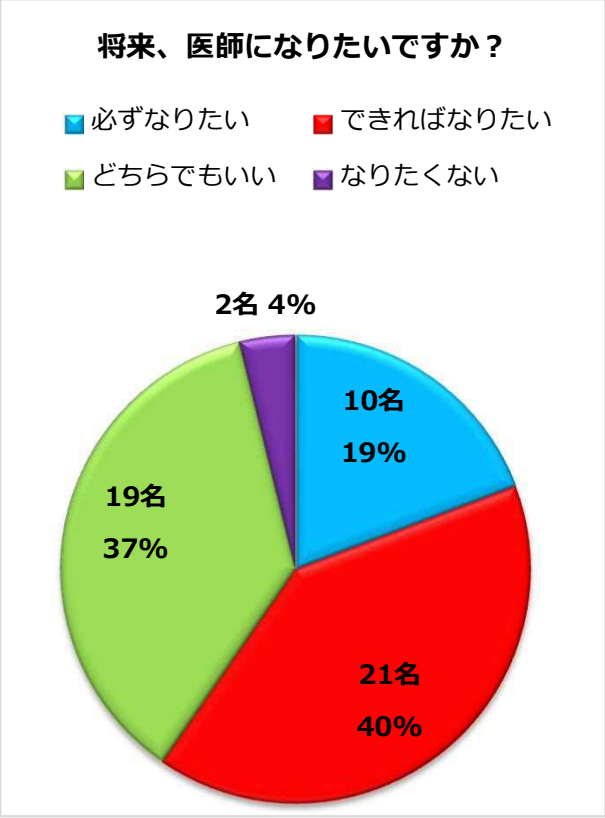
保護者シンポジウム

■ 過去の実績

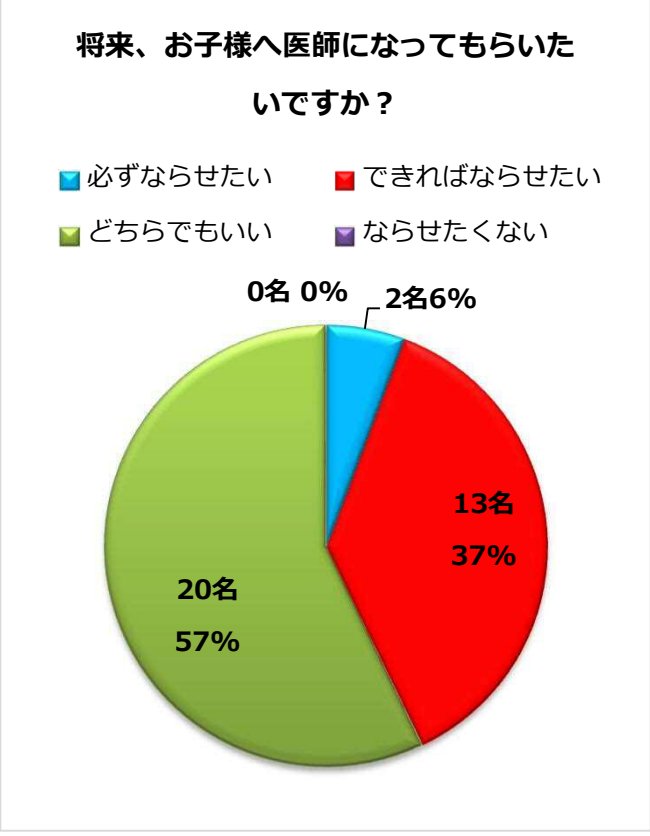
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加者数	**65**	**43**	**47**	**49**	**41**	**50**	**46**	**52**

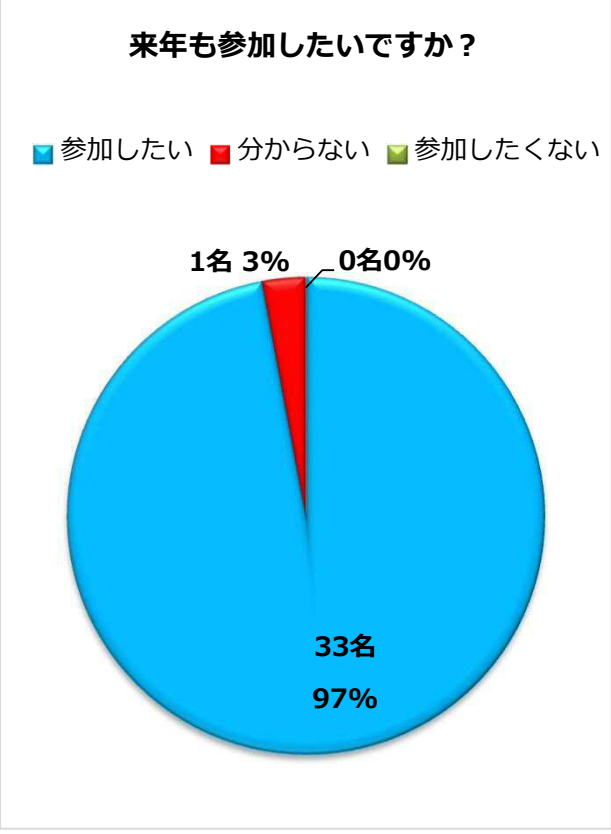
■ アンケート（参加者）





■ アンケート（保護者）





平成28年度 スタッフ名簿

■医療教育開発センター

センター長		濵田　久之
副センター長		小出　優史
医科卒後研修部門	部門長	宮本　俊之
	後期臨床研修(医師育成ｷｬﾘｱ支援室)室長	小畑　陽子
	後期臨床研修(医師育成ｷｬﾘｱ支援室)副室長	松島　加代子
	助教（指導医）	梅田　雅孝
		古賀　智裕
歯科教育研修部門	部門長	角　忠輝
	副部門長	久保　至誠
看護研修部門	部門長	宮﨑　智子
薬剤研修部門	部門長	北原　隆志
コメディカル等研修部門	部門長(副医療技術部長、臨床検査技師長)	南　惣一郎
救急医療教育室	部門長	長谷　敦子
事務		高比良　ゆかり
		高木　将秀
		野口　知樹
		稲田　文香
		森　美紀子
		仲野　智子
		馬場　絵里佳

■シミュレーションセンター

センター長	髙山　隼人
副センター長	柴田　英貴
	田下　博
事務	花井　寿々子